舞岡公園自然体験施設・文化体験施設併設

令和２年度　活動報告書

令和３年５月１５日

特定非営利活動法人　舞岡・やとひと未来

目　次

頁

1．年間活動予定表「谷戸ごよみ」・・・・・・・・・・・・・・1
2．田んぼ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3．畑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
4．雑木林・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
5．生物･環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
6．楽しく体験・季節の行事その１(農芸)・・・・・・・・11
7．楽しく体験・季節の行事その２(事務局)・・・・・・・12
8．楽しく体験・季節の行事その３(収穫祭・案山子まつり) 13
9．親子自然教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
10．こども谷戸教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
11．谷戸学校（27期生）・・・・・・・・・・・・・・・・・14
12．広 報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
13．舞・小谷戸屋・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
14．生物多様性維持保全活動・・・・・・・・・・・・・・16
15．教育機関･学校の通年･定期体験活動・・・・・・・・・17
16．教育機関以外の交流・体験・研修・・・・・・・・・・26
17．その他の活動（いろいろボランティア）・・・・・・・27
18．組織の運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
19．満足度調査(CSR活動)・・・・・・・・・・・・・・・・29
20．スタッフの教育・訓練の実施・・・・・・・・・・・・29
21．特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
＊令和２年度資料集・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～12

2020年度年間予定表

谷戸ごよみ

新型コロナウィルス感染拡大防止のためイベントが変更や中止になる場合があります。ご参加前にお問い合わせください。

※★印 …事前申し込みが必要。1～2ヶ月前 もご覧いただけます。

月	田んぼ	畑	雑木林	自然観察会	楽しく体験	季節の行事
	登録ボランティア中心の作業（未登録の方もどうぞ）			公募のイベント（★：要事前申し込み、無印：当日直接）		
4	種まき 田起し	ごぼう種まき 里芋種芋植え付け ヒマワリ・コスモス種まき	下草刈り 炭材作り	~~4/26 春の野鳥~~	~~4/12 わら細工：亀★~~	4/3 鯉のぼり・五月人形飾りつけ ~~4/5 花見茶屋~~
5	田起し 代かき 苗取り・田植え	落花生・ポップコーン・ゴマ・小豆種まき 六条大麦収穫	炭焼き 炭材作り 下草刈り	~~5/24 若葉の雑木林~~	~~5/3 茶摘み★~~ ~~5/3 茶摘みと手もみ茶作り★~~	~~5/5 こども谷戸まつり~~ 5/8 五月人形片付け ~~5/17 まい作品展・春~~ ~~5/31 田植え体験★~~
6	苗取り・田植え 田の草取り 畦草刈り	大豆種まき 玉ねぎ・じゃがいも収穫	炭焼き 林の手入れ	~~6/6 夜間観察会★~~ ~~6/27 夜間観察会★~~ ~~6/28 水辺の生き物~~		
7	田の草取り 畦草刈り ネット掛け	草取り 人参種まき 大根・ミニトマト・人参収穫	炭焼き	~~7/25 夜の里山生き物探検★~~ ~~7/26 盛夏の谷戸~~	~~7/18 夏休み竹細工：水鉄砲・竹のけん玉作りと遊び★~~	7/1～8 七夕飾り ~~7/18 谷戸肝だめし~~
8	畦草刈り ネット掛け ヒエ抜き	草取り ポップコーン収穫 大根畝作り・種まき	早朝草刈り大作戦 下草刈り	~~8/22 灯りに集まる虫の観察会★~~ ~~8/23 夏の里山~~	~~8/23 わら細工：わら草履★~~	~~8/21～22 里山の暮らし体験★~~
9	水抜き・畦草刈り 稲架作り 稲刈り	玉ねぎ種まき 草取り、手入れ	下草刈り	~~9/27 谷戸を観る~~	~~9/27 竹細工：かざぐるま★~~	案山子まつり
10	稲刈り 脱穀・ネット収納	さつまいも・人参収穫 かぶ・大根・菜の花種まき こんにゃく収穫	下草刈り 間伐・除伐	~~10/25 秋の実り~~		~~10/2 お月見会★~~ ~~10/4 稲刈り体験★~~
11	脱穀 荒起し	長ねぎ・落花生・里芋 唐辛子・大根・ごぼう・大豆・小豆収穫 玉ねぎ・六条大麦種まき	間伐・除伐 	~~11/22 生き物の冬支度~~	11/15 わら細工：鍋敷き・リース★	~~11/3 まい作品展・秋~~ ~~11/23 収穫祭~~
12	荒起し 餅つき	さつまいも種芋保存 漬物用大根収穫・干し 沢庵漬けこみ 麦踏み	間伐・除伐	12/13 野鳥観察入門	12/12・13 竹細工：ミニ門松★ 12/12・13 わら細工：正月飾り★	12/4 すす払い 12/11・12 障子張り ~~12/26 鏡餅作り★~~ 12/27 大掃除
1	餅つき 堆肥ふるい・切返し 畦・水路補修	畑周辺の整備 荒起し・堆肥すき込み 七草大根・かぶ収穫 麦踏み	間伐・除伐	~~1/10 バードウォッチング★~~ ~~1/24 冬の谷戸~~	~~1/23 竹細工：和凧作りと凧揚げ★~~	1/5 こども書初め会★ ~~1/7 七草がゆ~~ 1/8 まゆ玉作り 1/11 さいと焼き
2	堆肥ふるい・切返し	ミニトマト・唐辛子種まき 麦踏み	雑木林の集い 間伐・除伐	~~2/14 バードウォッチング★~~ ~~2/28 谷戸の目覚め~~	2/28 竹細工：こま作りと遊び★	2/3 節分・豆まき 2/4 ひな人形飾り
3	荒起し・塩水選苗 代作り 畦・水路補修	じゃがいも植え付け さつまいも苗床作り 長ねぎ種蒔き	植樹 椎茸植菌 間伐・除伐 下草刈り	~~3/14 バードウォッチング★~~ ~~3/28 早春の里山~~	3/28 竹細工：竹の鳥笛・箸・しゃもじ★	~~3/7 ひな祭り甘酒~~ 3/8 ひな人形片付け

※日程等は変更になることもありますので、ご参加前にお問い合せください。

	活動曜日	活動時間	備考	定例の話し合い
田んぼ	登録グループごとに設定（年 11 回程度）		主に登録をしての参加となります	第 2 日曜 12:30～
畑	日曜	10:00 集合～12:00	【注意】 5～11 月は毎週木曜と日曜に活動	第 4 日曜 12:30～
	第 2・第 4 木曜			
雑木林	日曜	13:00 集合～15:00	【注意】 4～9 月は日曜のみ活動	第 1 日曜 12:30～
	第 2・第 4 水曜（10 月～3 月）	10:00 集合～12:00		

※年間登録制の「こども谷戸教室」、「親子自然教室」、「舞岡公園谷戸学校（会のスタッフ養成講座）」もあります。

☆――――は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点等から中止となったイベント

2. 田んぼ

〈作業概要〉

今年度はコロナ禍の中で田んぼグループの活動ができない期間があったり、公開田植え体験・公開稲刈り体験・炊き出し・餅つきができなかったりなど、色々な制約を受けながらもボランティアの皆様と舞岡公園スタッフ一丸となって何とか 1 年を無事に過ごすことができました。ひとえに皆様のご尽力によると思い感謝いたします。ありがとうございました。

4 月	新年度の田んぼ作業は3月下旬の「塩水選」作業から始まります。塩水選は、全ての田んぼに植える稲の苗を育てるために、塩水に種籾を浸して厳選する作業です。厳選した種籾は2週間ほど真水に浸し、根が出始めた段階で苗を育てる「苗代田」に蒔きます。 時期を合わせて、苗代田では「田起し」と「代かき」が行われました。 4 月 5 日と 4 月 12 日に、根が出始めた種籾を苗代田に蒔きました。種籾は毎年作付けしている早稲種の「コガネモチ」と晩稲種の「マンゲツモチ」です。(舞岡公園ではこれ以外にもみどり糯、黒米、赤米などの古代米も少し栽培しています。)種籾を蒔いた後の苗代田には、カモなどの鳥害対策として防鳥用ネットを掛けます。しかしコロナ禍のため 4/8～5/31 までボランティアさんが参加する田んぼ諸活動が停止になったため、指導員、準指導員及び学校田のアシスタントで各田んぼの田起し、代かきを乗り切ることにしました。
5 月 ～ 6月	5月下旬までにほとんどの田んぼの代かきは何とか終わり、田植えの準備が整いました。一方、苗代育成状況はコガネモチが順調でしたが、マンゲツモチは少し発芽率が悪かったのと一部苗代田が荒らされたことにより予定を変更して3c番、6番、8b番、11 番、14番田んぼにはコガネモチを植えました。 5月後半から代かきが終わった各田んぼでは順次苗代田から丁寧に早苗を取り6月 1 日から一般ボランティアさんも参加して田植えを行い、6月中旬にはほぼ完了しました。しかし、残念ながら 5 月 31 日に予定していた公開田植え体験は中止となりスタッフで対応することになりました。お米の種類は 14、15 番田んぼを境にして分けるのではなく苗の状況により上記の通り田んぼごとに決めさせていただきました。なお関東地方では 6 月 11 日に梅雨入りとなりました。苗代田は水が滞留し水温が上がり易く、苗を取る時にセルカリア被害を受けやすいので、例年同様水道水を引込んで水温を下げながらセルカリアを排出するとともに、ビニール手袋を使用して苗取りをするなどの対応をしました。その効果もあって、セルカリアの被害はほとんどありませんでした。 田植え後 3～4 週間経った田んぼにはコナギやオモダカ等の草が生えて稲が生長するための養分を奪い、日光を遮り水温上昇を妨げて稲の成長を妨げるので、草取りや畦の草刈りは大事な作業です。各田んぼの草取りと畦の草刈りは全田んぼで順調に進みました。
7月	7 月は平年より 11 日ほど遅い夏の到来(8 月 1 日に梅雨明け)となり、期間降水量は多めになったようです。したがって特に水不足はありませんでした。また東日本では曇りや雨の日が多く月間日照時間はかなり少なかったようです。この中でも稲は順調に成長し、田の草取りも 7 月下旬から 8 月上旬には完了し、7 月 20 日過ぎには幾つかの田んぼで出穂(しゅっすい)が観察されました。出穂の 25 日くらい前から「幼穂形成期」にあたり、また出穂後30日位までは水を必要とする時期と言われていますが、7 月は水不足を心配することなく田んぼは実りの準備期に入りました。また稲穂の食害を雀から防ぐため、防鳥ネットを 18～28 番田んぼで使用しました。ネット無しの田んぼでは若干の食害がありましたが、来年度もこの方法は踏襲します
8 月	8 月は全国的に気温も高く特に東日本でかなり高く、平年差+2.1℃で、1946 年の統計開始以来、8 月として 1 位の高温でした。また東日本太平洋側は月降水量がかなり少なく、平年比 29%で 1946 年の統計開始以来 8 月として東日本太平洋側で 1 位でしたが問題はありませんでした。該当田んぼの防鳥ネット掛けが8月上旬には完了する中で、全田んぼでの出穂も進み出穂時期はコガネモチで 7/14～7/26、マンゲツモチで 7/26～8/9 でした。また 8 月下旬から田んぼの水抜きが始まりました。
9 月	9 月の月降水量は東日本太平洋側で少なかったが気温はかなり高くなり稲は順調に育ちました。8 月下旬から 9 月上旬にかけて水抜きを行い 9 月中旬からコガネモチの稲刈りが始まりました。 またコロナ禍に負けずに各田んぼには舞岡公園名物「案山子」が立てられ、来園者の目を楽しませてくれました。
	10 月はマンゲツモチ稲刈りの最盛期を迎えるとともに、稲架(はざ)かけ後の稲の脱穀シーズンも迎えます。9 月の水抜き後、穂が頭を垂れる登熟期になってから分けつが進み、しいな(殻ばかりで中身のないもみ)が 2 割ぐらい混じってしまいました。なお、今年は台風が全く襲来せず、その被害はありませんでし

10 月	た。残念ながら 10 月 4 日に予定していた公開稲刈り体験は中止となりスタッフで対応することになりました。 なお、稲架かけは、ノコギリ鎌で刈り取った稲株を5株くらいずつに束ねて稲架にかけて 2～3 週間乾燥させる作業です。今年度の新たな問題は稲架に稲をかけたとき下段の低い場所の稲穂をカルガモが引っこ抜いて食べてしまうことが上手(かみて)の田んぼで頻発しました。対策として稲架かけ時には防鳥ネットを必ず張ることにします。(もしくはカルガモが届かない高さに干す。) 脱穀は、足踏み脱穀機と唐箕等を使用して稲架で乾燥させた稲束から籾を外し、その籾を唐箕にかけてシイナや藁屑と分離する作業です。分離した籾は袋詰めを行った後に計量します。事故に繋がり易い作業ですが、今年も事故無く終了させることが出来ました。 今シーズンの収穫量は昨年に比べて約 10.2%増の 1, 321 kgでした。脱穀が終わった稲藁はよく乾燥させてから納屋に収納し、冬以降、農閑期のわら細工や縄綯い等に余すところなく利用します。
11 月 ～ 1 月	次年度に向け土作りの第一歩である荒起しが始まりました。 わら細工用などに使う稲わらは納屋の中に保管し、田んぼと畑の堆肥に使う稲わらは屋外の 14 番田んぼで「わらボッチ」として春先まで保管します。また今年は5番田んぼに小型の「わらにょう」も立ててみました。冬の田んぼ風景とマッチして癒される景色になりました。 なお、舞岡公園での荒起しは12月初旬の虫籠り時期から3月初めの啓蟄までは行いません。これは冬ごもりしている生物を保護するためです。この間は水路の畦補修などの整備作業を行いました。
2 月	2月から3月上旬にかけては堆肥の作製(「堆肥篩い」と「堆肥切返し」)を行います。当公園では化学肥料を全く使用しない有機無農薬栽培を行っており、一昨年の夏から秋にかけて集めた田んぼの草、草刈りの草、わらや雑木林の落ち葉を堆積して作った堆肥を篩い、各田んぼに撒きました。また、今年度の夏以降に集めていた堆肥材は、鍬などで解(ほぐ)しながら残った堆肥材と混ぜ合わせて新たに堆積させる「切返し」作業を行い、来年度の堆肥の準備をしました。
3 月	秋に荒起しを実施しなかった田んぼでは、3月に入って荒起しを行い来年度の田んぼに引き渡します。一方、来年度用の種籾を選ぶ作業として3月末には「塩水選(えんすいせん)」を実施しました。同時期に「苗代田」にする田んぼの「田起し」と「代かき」を行い、暖かい水が苗代田に入るような工夫も継続して、最初の作業の種蒔きに向け準備を行いました。

〈特記事項〉

コロナ禍の中、色々な制約を受けながらもボランティアの皆様とスタッフ一丸となって何とか 1 年を無事に過ごすことができました。台風もなく、比較的天候にも恵まれたと思います。できる限りではありますが、皆さんと「元気に・楽しく・安全作業に留意して田んぼ活動を行う」という目的は達成できたと思います。

(1)収穫量

令和2年度種もみはコガネモチが当公園で採取した物を使用し、マンゲツモチは更新時期を迎えたため外部から購入しました。

全収穫量は、籾ベースで 1,321 kgとなり昨年度の 1,207kg に対し 10.2%の増収でした。 また新たにみどり糯の栽培を増やす試みを行い、収量は内数で 103kgとなりましたが今後は利用方法を考える必要があり一部継続して栽培していくつもりです。黒米・赤米・他は内数で 65kg の収穫でした。

(2)天候による影響

今年は台風の襲来もなく天候には比較的恵まれました。苗代育成状況はマンゲツモチの発芽率が少し悪かったことと一部苗代田が荒らされたことによりコガネモチを植える田んぼを増やすことで乗り切りました。

8 月は全国的に気温も高く、9 月の水抜き後、穂が頭を垂れたころ雨の日が多くなり田んぼに水がたまったところにまた好天が続いて分けつが進み、稲刈り時にしいな(殻ばかりで中身のないもみ)が 2 割ぐらい混じる田んぼがほとんどでした。雨と気温の問題とはいえ米作りの難しさを感じる出来事でした。

コロナ禍の中、人の確保等で稲刈りや脱穀が遅れるなど苦労はありました。

(3)米作り体験グループの動向について

令和 2 年度は、新しく「みなみひのレインボー」、「稲ラボ」が田んぼ作業に新規参加しました。一方、コロナ禍のため「親子自然教室」、「こども谷戸教室」、「港南ひまわり保育園」「スペシャルオリンピックス日本・神奈川」は活動を今年のみ休止しました。

お米の収穫量・使用量実績

①籾収穫量(乾燥後)は 1321kg(精米換算 942kg)。
前年度の籾収穫量は 1207kg(精米換算 846kg)で前年比 ＋10.2%でした。
・新型コロナウイルス感染症対策で不耕作田も出ましたが、好天の気候が続いたことが収穫量の増収につながったものと考えられます。
②使用は精米 1084kg(登録ボランティア配布等田んぼｸﾞﾙｰﾌﾟの使用が 641kg、販売や評議員さんへのお礼等が 443kg)
(前年度の実績は精米で763Kg)。
③前年度より繰越しは籾 1713kg(精米換算 1057kg)、次年度への繰越しは籾 1510kg(精米換算 1057kg)。
※精米換算率は籾重量×歩留まり率 70%で計算

表1. 田んぼ別収穫量(乾燥後)・使用量(精米)

田んぼ No.	面積 ㎡	グループ名	収穫量 籾 kg	収穫量 ※精米換算 kg	使用量 回数	使用量 精米 kg
	5393	合計	1321	942	2	641
1A	195	南舞岡小5年生 ・ 小学館アカデミー上永谷(保)	55.2	38.6	※持出 ※持出	9.9 3.9
1B	130	ヤトトロ	39.1	27.4	0	0.0
1C	65	不耕作	—	—	—	—
2A	132	ひのレインボー	34.1	23.9	0	0.0
2B	70	きいちごの会	34.7	24.3	0	0.0
3A	115	舞米組	30.9	21.6	0	0.0
3B	95	谷戸九・芹が谷青協	25.3	17.7	0	0.0
3C	107	YMCAとつか保育園	35.7	25.0	※持出	10.0
4A	191	やとぽっぽ	35.6	24.9	0	0.0
4B	60	ポピンズナーサリー・(保)	29	20.3	※持出	12.6
5	241	日限山小5年生	93.1	65.9	※持出	27.0
6	248	小菅ヶ谷小5年生	75.6	53.2	※持出	27.3
7A	112	休耕田	—	—	—	—
7B	70	稲らぼ	15.7	11.0	0	0.0
8A	66	もみの木園(幼)	14	9.8	※持出	4.8
8B	120	保土ヶ谷養護高	24.8	17.4	※持出	15.0
9	168	巴の会	50.2	35.1	0	0.0
10A	165	原始人ｸﾗﾌﾞ＋一休さん	25.3	17.7	0	0.0
10B	85	ゆたかカレッジ	40.6	28.4	※持出	6.0
11	132	つとむくん	33.1	23.2	0	0.0
12	226	金井幼稚園	60.3	42.2	※持出	42.2
13A	150	休耕田	—	—	—	—
13B	163	どろんこの会	50.3	35.2	0	0.0
14	436	公開体験田	114.2	79.9	—	—
15	82	生物環境部会田(不耕起)	8.4	6.8	0	0.0
16	66	本牧稲作部	22	15.4	0	0.0
17	106	とみとおはこの会	28.6	20.0	0	0.0
18	109	谷戸学校27期生	33.3	23.3	0	0.0
19	66	土の会	20.1	14.1	0	0.0
20	85	どん米	32.9	23.0	0	0.0
21	106	休耕田	—	—	—	—
22	103	B23・田24・1/4s	43.7	35.0	0	0.0
23	88	ゆいまーる(不耕起)	19.8	15.8	0	0.0
24	60	休耕田	—	—	—	—
25	103	谷四囲会	24.2	19.4	0	0.0
26	82	休耕田	—	—	—	—
27	106	一七穂の会＆キッズ	40.7	28.5	0	0.0
28A	90	休耕田	—	—	—	—
28B	150	部会田(黒米・赤米)	15.3	12.2	0	0.0
28C	140	ぐみんぼ	50.4	35.3	1	5.2
28D	90	こめこめクラブ			1	6.0
30	80/149	もち米(不耕起・事務局)	14.5	10.2	—	—
31	112	部会田(黒米・赤米)	35.5	28.4	—	—
32	71	黒米	14.3	11.4	0	0.0
33	[58]	実取らず(農芸)	—	—	0	0.0
36	[60]	実取らず(農芸)	—	—	—	—
ア配布米(0.8×329人)			—	—	1回目	263.2
ア配布米(0.8×260人)			—	—	2回目	208.0

表2. 事業等での使用量(精米)

使用量 月日	内容	精米 kg
	合計	443
中止	花見茶屋(団子)	0.0
中止	東日本大震災チャリティー こども谷戸まつり(餅) こども谷戸まつり(甘酒)	0.0
中止	田植え体験(米販売)	0.0
6.13	法人会員お礼 (0.8×23人)	18.4
	〃 (黒米0.2×23人)	4.6
8月上旬	評議員さんお礼 (0.8×12人)	9.6
	〃 (黒米0.2×12人)	2.4
中止	里山のくらし体験	0.0
中止	お月見会(餅・だんご)	0.0
中止	稲刈り体験(米販売)	0.0
10.04	ブリジストンボラお土産(1.5×6人)	9.0
	ブリジストンボラお土産(黒0.2×6人)	1.2
10.18	ブリジストンボラお土産(1.5×6人)	9.0
	ブリジストンボラお土産(黒0.2×6人)	1.2
10.29	かかし参加賞・賞品	60.0
中止	収穫祭 谷戸餅 おこわ 焼き餅 甘酒 谷戸だんご ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｽﾀｯﾌ土産	0.00
12月上旬	評議員さんお礼 (0.8×8人)	6.4
	〃 (黒米0.2×8人)	1.6
12月下旬	スタッフ米 (1.0×49人)	49.0
中止	畑部会お疲れ会	0.0
中止	鏡もち作り体験	0.0
12.24	古民家鏡もち	5.0
中止	七草がゆ	0.0
1.13	まゆ玉作り(米粉)	1.5
	〃 (色付け用米粉)	0.4
中止	ひな祭り 甘酒	0.0
中止	いろいろボランティア お疲れ会(餅)	0.0
10月～3月	販売(もち米)	230.0
	販売(黒米)	23.5
—	炊出しおにぎり用黒米	0.0
3.21、28	R3年度用種籾(精米換算) (マングツモチ9.4kg(No.1A) (ミドリモチ1.0kg(No.25)) (黒米・赤米0.3kg(No.31))	10.7

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の田んぼグループの餅つき及び一部の事業を除いて中止となりました。

3． 畑

（1）野菜作りの主な特徴

・野菜の植付けは新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、収穫祭と炊出しの実施が不透明なため限定的に実施しました。したがって野菜の収穫量は例年に比べ大きく減少しました。また収穫した野菜については食品ロスを防ぐため、市民の方々にカンパで提供しました。

・コロナ禍による人手不足と長梅雨のため、畑の作業は遅れが目立ちました。

・個別の野菜作りにおいては、カラス被害のためポップコーンの種蒔きを２度実施。落花生はアライグマ被害により収量が大幅に減少。大豆はカメムシの被害により、味噌作りが出来る収量に至らりませんでした。

・さらにコロナ禍のため今年は南舞岡小学校新１年生によるヒマワリとコスモスの種蒔きは実施せず、指導員により実施しました。

・菜の花も来園者の観賞用に、今年も植付けを実施しました。

（2）主な作物の収穫量及び使用方法　（　）内数字は前年度収穫量

野菜の種類	収穫量（kg）	使用目的
さつまいも（紅あずま）	125（435）	収穫祭と炊出しは実施せず、市民にカンパで提供
六条大麦	15　(7)	同上
大根（大蔵・練馬）	344（450）	同上　　但し沢庵漬けは実施
さといも	166（142）	同上　　但し種芋は確保
にんじん	16（28）	同上
ポップコーン	3（31）	同上　　但し種は確保
落花生	4（23）	同上　　但し種は確保
じゃがいも	93（136）	同上
ごぼう	21（16）	同上
玉ねぎ	120（650）個	同上
ねぎ（長ねぎ・九条ねぎ）	250（440）本	同上

（3）作業内容及びボランティアの延べ参加人数

月	主な作業内容	参加人数（人）
4月	ごぼう種蒔き、さといも畝作り・種芋植付け、じゃがいも追肥・土寄せ	31
5月	落花生畝作り・種蒔き、ポップコーン畝作り・種まきさつまいも苗植付け、六条大麦収穫	46
6月	さつまいも苗植付け、ポップコーン追蒔き、玉ねぎ収穫、大豆種蒔き	59
7月	じゃがいも収穫、さといも土寄せ・藁敷き、落花生追肥、さつまいも草取り	67
8月	大根畝作り・種蒔き、落花生草取り、にんじん種まき	82
9月	ポップコーン収穫、落花生草取り、大根間引き・土寄せ、玉ねぎ種まき	96
10月	大根虫取り、七草用大根・かぶ種蒔き、ゴマ・小豆収穫	60
11月	さつまいも・さといも・にんじん・ごぼう・大根収穫、さつまいも・さといも種芋保存	112
12月	玉ねぎ苗植付け、わら・落葉の堆肥作り、練馬大根収穫・沢庵漬け	48
1月	わら・落葉の堆肥作り、堆肥切返し、玉ねぎ苗土寄せ	42
2月	じゃがいも畝作り、各畑草取り	67
3月	じゃがいも種芋植付け、さつまいも苗床作り・種芋伏込み、さといも畝作り	45
		755

体験畑作付場所

小谷戸の里畑

大豆畑(7・8番たんぼ奥)

4. 雑木林

里山における雑木林は、昔から建築資材や道具等の用材、燃料用の薪炭材、堆肥用の落葉や下草、および食材としての野草やキノコ等を供給する場として、生活に密着していました。横浜市の原風景である谷戸の景観を留めている舞岡公園の雑木林は、園内の田畑に水を供給するだけではなく、江の島へ注ぐ境川水系の源流の一つとして、流域全体の自然・生態系の維持に大きな役割を果たしています。

もとより、雑木林は、野鳥・昆虫などの動物や植物・菌類にとってなくてはならない生命の営みの場そのものであり、生物多様性の実現へと繋がる貴重な環境でもあります。そしてそれらの営みと緑や花など自然そのもののもつ優しさが、何よりも訪れる人々をほっとさせる憩い・癒しの空間を提供しています。里山の雑木林を、できるだけ良好な状態で維持することで、多くの来園者に喜んで頂けるよう今年度も様々な雑木林作業を行いました。

今年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から4月 12 日、19 日、26 日、5月3日、9日、10日、16日、17日、24日、31日の活動休止を余儀なくされましたが、6月からは感染防止対策をとり、健康状態のチェックを行いながら年度末まで活動を行いました。

＜活動概要＞

1. 下草刈り（20回：早朝草刈り5回を含む）
2. 炭焼き関連（10回：炭焼き2回、釜補修1回を含む）
3. 間伐・除伐関連（18回）
4. 階段補修（2回）
5. 椎茸植菌イベント（2回）（42組90名参加）
6. 椎茸関連作業（2回）
7. 林の現場確認（3回）
8. 雑木林の集い（現場視察と話し合い）（1回）
9. 定例部会（10回）

*事業参加総人数：597人

＜1年間の活動記録＞

活動日	作業内容（場所等）	参加人数（人）
4/5	林の現場確認　4～7月期	8
4/12	炭材作り　中止	0
4/19	炭材作り　中止	0
4/26	下草刈り　中止	0
5/3	炭材作り　中止	0
5/9	窯詰め　中止	0
5/10	炭材作り　中止	0
5/16	炭焼き①　中止	0
5/17	炭焼き①　中止	0
5/24	炭材作り　中止	0
5/31	炭材作り　中止	0
6/7	下草刈り	8
6/13	炭出し・窯詰め	3
6/14	窯詰め・炭材作り	7
6/20	炭焼き②	5
6/21	炭焼き②	13
6/28	榾木伏せ　雨天中止	0
7/5	下草刈り　雨天中止	0
7/11	炭出し・窯詰め	9
7/12	窯詰め・炭材作り	4
7/18	炭焼き③	4
7/19	炭焼き③	9
7/26	林の現場確認　8～11月期	4
8/2	早朝草刈り	9
8/9	早朝草刈り	14
8/16	早朝草刈り	8
8/23	早朝草刈り	7
8/30	早朝草刈り	7
9/6	炭出し・窯詰め	5
9/13	下草刈り	4
920	下草刈り	6
9/27	下草刈り	8
小計（人）		142

活動日	作業内容（場所等）	参加人数（人）
10/4	下草刈り	6
10/11	下草刈り	5
10/14	下草刈り	7
10/18	下草刈り	5
10/25	下草刈り	7
10/26	下草刈り	9
11/1	下草刈り	6
11/8	下草刈り	6
11/11	下草刈り	9
11/15	下草刈り・窯補修	17
11/22	下草刈り	12
11/25	間伐・除伐	5
11/29	階段補修	8
12/6	林の現場確認12～3月期・階段補修	8
12/9	間伐・除伐	6
12/13	間伐・除伐	5
12/20	間伐・除伐	7
12/23	間伐・除伐	8
1/10	間伐・除伐	7
1/13	間伐・除伐	9
1/17	間伐・除伐	8
1/24	間伐・除伐	3
1/27	間伐・除伐　雨天中止	0
1/31	間伐・除伐	6
2/7	榾木準備	11
2/10	間伐・除伐	11
2/11	雑木林の集い	5
2/14	間伐・除伐	5
2/21	間伐・除伐	8
2/24	間伐・除伐	9
2/28	榾木準備	8
3/7	椎茸植菌イベント(2回)	17
3/10	間伐・除伐	7
3/14	間伐・除伐	11
3/21	植樹イベント　雨天中止	0
3/24	間伐・除伐	7
3/28	間伐・除伐	2
小計（人）		270

総計（人）　412

５．生物・環境

指導員２名、一芸登録者５名、アシスタント１名の計８名により以下の活動を行いました。

（１）　自然観察会：自由参加による定例自然観察会と事前申し込み制の観察会を計１８回計画しました。

１）定例自然観察会　　：原則、毎月第４日曜日、午後、２時間（１回）
２）夜間観察会（ホタル）　　：６～７月の土曜日、夜間、１時間半（２回）
３）夜の里山生き物探検　　：7月下旬～8月上旬土曜日、夜間、２時間（１回）
４）冬季観察会（野鳥）　　：１～３月の日曜日、午前、２時間（3回）
５）灯りに集まる虫の観察会　：８月下旬の土曜日、夜間、２時間　（１回）

（２）　調査・保全作業

１）田の草調査　　今年度は未実施。

２）田の生き物調査　　今年度は未実施。
生き物の多様性を知る一助として、田んぼの中の生物調査を行いました。７年目です。
継続して調査している田んぼは２３番田んぼで、不耕起田、冬も水を落とさない湛水田として管理している田んぼです。

３）ビオトープの管理　　作業：　10/11（1名）3/14（4名）
調査：　今年度は行えず
さくらなみ池とその下流の民間営農地との間の土手状の部分について、草原状の陸地部分と池側の水辺部分は公園内の他の区域とは異なっているためビオトープと名付けて管理しています。
草原状部分は、バッタ類を指標として草の背丈などを管理、水辺部分はトンボ（ヤゴ）を指標生物として、アシを部分的に刈るなどの管理しています。
また、ハンノキを食草とする、ミドリシジミの生息地になっていますのでそれを考慮しての管理をしています。セイタカアワダチソウ抜きなど、植生の調査、保全をしています。
今年度はガガイモが多く咲き、実もみられました。

・今年も、夏に一部分の機械刈りを事務局に依頼。
・作業は、草地部分の草刈りと水辺部分の整備をしています。
・樹木の剪定の勉強会を兼ね、剪定を行いました（４年め）。３月に実施。

（３）事業記録

１）定例自然観察会　　：申込み不要、参加無料。毎回、観察記録ポスターを掲示

月日（曜日）	内容	時間	参加者数（人）
4月28日（日）	春の野山	13:00～15:00	中止
5月26日（日）	若葉の雑木林	13:00～15:00	中止
6月23日（日）	水辺の生き物	13:00～15:00	中止
7月28日（日）	盛夏の谷戸	13:00～15:00	中止
8月25日（日）	夏の里山	13:00～15:00	中止
9月22日（日）	谷戸を観る	13:00～15:00	中止
10月27日（日）	秋の実り	13:00～15:00	中止
11月24日（日）	生き物の冬支度	13:00～15:00	中止

12月 8日（日）	野鳥観察入門	9:00～11:00	11
1月27日（日）	冬の谷戸	13:00～15:00	中止
2月23日（日）	谷戸の目覚め	13:00～15:00	中止
3月24日（日）	早春の里山	13:00～15:00	雨天中止
			11

昨年度：122人

※新型コロナウィルス感染拡大防止の観点および緊急事態宣言により中止を判断しました。

2）夜間観察会 ：18:45～20:30（事前申込、中学生以上500円、小学生200円、定員30名）
新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止としました。

3）夜の里山生きもの探検 ：18:45～21:00（事前申込、中学生以上500円、小学生200円 定員15名）
新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止としました。

4）冬季観察会（野鳥） ：9:00～11:00 （事前申込み、小学生以上200円、20名募集）
新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止としました。

5）灯りに集まる虫の観察会 ：８月１８日（火）19:00～21：00
観察会は中止とし、内部研修として外部講師を招いて開催しました。

（4）舞の里だよりへの執筆

毎号、「生きもの語り」と定例自然観察会の報告を隔月で執筆しています。
今年は、大部分の観察会を中止としたため、生き物語りの執筆を増やしました。

（5）部会内勉強会

今年度より、部会を議事と勉強会との二部構成ですすめました。
調査前等の事前学習やスキルアップ、他部会との生物環境的な視点を共有する目的で行いました。
勉強会内容は記録に残してファイルしました。
「樹木と野草のしおり」の観察（季節毎）、ホタルについて、休耕田の田の草、バッタ調査、
野鳥観察、ビオトープ樹木の剪定

（6）部会、生物多様性部門会議の実施

部会も新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から都度判断し実施。中止した月もあり。
生物多様性部門の活動が本格的に始まりました。部会長出席。

6. 楽しく体験・季節の行事その1（農芸）

農作物の副産物や竹など公園内で取れる材料を利用して、昔ながらの身の回りの物や季節のお飾りなどを作る体験活動を行いました。又、正月飾りなどの行事や小谷戸屋で販売する作品作りに利用するため、田んぼで「実とらず稲」の栽培やお茶摘み体験用の「茶の木」の手入れなどを行ないました。

新型コロナウィルスの感染拡大に伴い行事の中止、公募数の変更、一部行事内容の変更を行いました。

月日	曜日	行事名	内容	公募組数（組）	参加人数（人）(組)	スタッフ人数（人）
4/12	日	わら細工：亀作り	藁を使って亀作り	20	中止	—
7/18	土	竹細工：水鉄砲、竹のけん玉作りと遊び	竹で水鉄砲、けん玉を作り遊ぶ	20	中止	—
8/23	日	わら細工：わら草履作り	藁を使って草履作り	20	中止	—
9/27	日	竹細工：竹の風車作り	竹ひごを使って風車を作り回して遊ぶ	20	中止	—
11/15	日	わら細工：鍋敷き・リース作り	藁を使って鍋敷き又はリース作り	~~20~~ 15	12人（5組）	10
12/12	土 午前	ミニ門松作り	真竹、孟宗竹、松、藁で織ったコモを使ってミニ門松作り	~~20~~ 15	26人（15組）	8
12/13	日 午前			~~20~~ 15	25人（15組）	11
12/12	土 午後	わら細工：正月飾り作り	藁を使って3種類の正月飾り作り	~~20~~ 15	29人（15組）	9
12/13	日 午後			~~20~~ 15	23人（14組）	12
1/ 23	土（1日）	竹細工：和凧作りと凧揚げ	am: 竹ひご、和紙で凧を作り pm: 凧揚げ遊び	15	中止	—
2/28	日	竹細工：こま作りと遊び	竹を使って3種類の手回し独楽を作って遊ぶ	~~20~~ 15	32人（15組）	12
3/28	日	竹細工：竹の~~鳥笛~~けん玉、箸、しゃもじ作り	竹を加工して~~鳥笛~~ けん玉他2種類作成	~~20~~ 15	30人（13組）	13
				合計参加人数	177人（92組）	75

事務局連携事業

月日	曜	行事名	内容	公募人数（人）	参加人数（人）	スタッフ人数（人）
5/ 3	日（祝）	お茶摘み体験	Aコース：茶摘みと手もみ茶作り	30	中止	—
			Bコース：茶摘み	70	中止	
				合計参加人数	—	—

7. 楽しく体験・季節の行事その2（事務局）

古民家を中心に四季折々の伝統的な行事を計画しました。
しかし、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が出されたりイベント自粛要請が出されたりしたため、多くのイベントを中止しました。

月日	曜	事業名	内容	公募人数(人)	参加人数（人）
4/5	日	花見茶屋	古民家でもち米・赤米入り・みどり糯で作った三色団子を提供	—	中止
5/5	火・祝	こども谷戸まつり	東日本大震災復興支援チャリティーイベントとして開催 売上金は義援金として被災地（東日本大震災岩手の学び希望基金）に贈る	—	中止
5/17	日	まい作品展・春	古民家庭に、舞岡公園を題材とした写真・絵画・バードカービング・絵手紙等を展示	—	中止
5/31	日	田植え体験	公募の田植え体験	200	中止
7/1～7/8	水～水	七夕飾り	笹を飾り、来園者が短冊に願い事を書く	—	約30
7/18	土	谷戸肝だめし	谷戸の暗さと静けさによる”怖さ”を体験	8組	中止
8/21～8/22	金土	昔の暮らし体験	古民家に泊まり、昔の暮らしを体験する（対象：小学4～6年生）	10	中止
10/2	金	お月見会	古民家の庭でお餅搗きを楽しみ、餅を食べながらお月見をする 4歳以下には「お月見くんな」（地域伝承行事）を実施	60	中止
10/4	日	稲刈り体験	公募の稲刈り体験	200	中止
11/3	火・祝	まい作品展・秋	古民家庭に、舞岡公園を題材とした写真・絵画・絵手紙・俳句等を展示	—	中止
11/23	月・祝	収穫祭	詳細…別項	—	中止
12/4	金	すす払い	母屋の天井裏や、梁のすす払い	—	5
12/11～12	金・土	障子張り	母屋の座敷、欄間、2階の障子を剥がし、障子張り	—	17
12/22	土	鏡もち作り体験	搗いた餅を丸めて、お正月の鏡もち作り	20組	中止
12/27	日	大掃除	一年間お世話になった事務所、作業棟、納屋の大掃除	—	22
1/5	火・祝	こども書初め会	小学生対象の書初め会 作品は古民家床の間に季節に応じて展示	12	19
1/7	木	七草がゆ	谷戸で採れた七草で粥を作り、提供 七草の寄せ植えも展示	—	中止
1/8	土	まゆ玉作り	5色の団子を作り、ミズキの枝に刺して母屋に飾る	—	4
1/11	月・祝	さいと焼き	1年の平安を願って正月飾りや書初めなどを田んぼで焼く	—	約250
2/2	火・祝	節分の豆まき	年男年女の掛け声で古民家と来園者の災いを払い、健康と幸福を願って豆をまく	—	8

合計参加人数　約355 人

8. 楽しく体験・季節の行事その3(収穫祭・案山子まつり)

(1)収穫祭

収穫祭は、自然の恵みに感謝し、ボランティア・スタッフみんなで取り組む"舞岡・やとひと未来"最大のイベントです。例年、丹精込めてみんなで育てたもち米や畑で収穫した野菜などを使い、谷戸もち、おこわ、谷戸鍋、焼き芋などを販売する食べ物コーナーや、つる細工、縄ない、丸太切りなど谷戸の恵みを活かした体験コーナーを設け、多くの市民に喜ばれてきました。

しかし、今年は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止しました。

(2) 案山子まつり

舞岡公園秋の風物詩となった恒例の案山子まつりには、舞岡公園ならではの自然素材だけを使用した案山子が31体並びました。出展者には「案山子まつり参加の手引き」(日程、材料、ルールなど)に沿って作成してもらいました。

人気投票は、投票総数1,806票。多くの来園者が案山子マップを片手に散策し、投票しました。

谷戸学校27期生有志が、案山子まつり実行委員として、材料の準備や開票作業を行いました。

＜案山子まつり概要＞

1)田んぼに立てる期間

・8月7日～稲を取り入れた日(11月23日まで可)

2)人気投票期間

・9月18日～10月17日

・投票は1人2点　　・開票日10月25日

3)賞品・・・参加賞　：もち米1.5kg、案山子カレンダー

入　賞　：もち米3～6kg、案山子カレンダー

4)結果発表・表彰式

・結果発表は11月1日に舞岡公園公式ホームページと園内の掲示で行いました。

・表彰式は、受賞グループの田んぼ活動日に個別に実施しました。

※例年は、収穫祭で結果発表と表彰式を行っています。

＊人気投票賞

1位	「もぐもぐひぎりん」	日限山小学校
2位	「コロナに負けるな！アマビエちゃん」	どろんこの会
3位	「コロナヴィールスをやっつけろ！」	やとぽっぽ
特別賞	「つとむくん2号」	つとむくん

9.親子自然教室

1)対象:3～5歳児(令和2年4月1日現在)とその家族

2)担当田んぼ:№7A

3)担当指導員:2名

10.こども谷戸教室

1)対象:小学1～3年生とその家族

2)担当田んぼ:№7B

3)担当指導員:2名

＊「親子自然教室」「こども谷戸教室」は、谷戸の自然に親しみながら、一年間、米作り体験を行う予定 でしたが、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から募集および活動を中止しました。

11. 谷戸学校（27期生）

*開園当初から、重要な役割を担うスタッフの独自の養成講座

活動日	10時 ～ 12時		参加人数（人）			参加人数（人）
4/19	中止			中止		
5/10	中止			中止		
5/17	中止			中止		
6/7	開講・谷戸とは	座学	9	苗取り・田植え	実習	9
6/21	草取り・草刈り①	実習	9	谷戸について	座学	9
7/5	草取り・草刈り②	実習	10	田んぼの一年	座学	10
7/19	ネット掛け準備	実習	11	ネット掛け・草刈り	実習	11
8/23	舞岡公園の歴史	座学	9	水抜き・草刈り	実習	9
9/6	稲架作り	実習	13	案山子作り	実習	11
9/20	稲刈り	実習	11	稲刈り・稲架掛け	実習	11
10/11	脱穀	実習	11	脱穀	実習	11
10/25	生物多様性関連作業	実習	12	畑部会実習①	実習	12
11/8	農芸部会実習	実習	12	荒起し①	実習	11
11/15	道具の手入れ・収納	実習	10	各部会の紹介	実習	14
11/23	畑部会実習②	実習	11	雑木林部会実習①	実習	11
12/13	古民家の活用と維持	実習	12	公園内谷戸歩き（現地研修）	実習	11
1/10	ボランティア活動について	座学	11	生物環境部会実習	実習	12
1/24	餅つき（中止）	実習		雑木林部会実習②	実習	12
2/7	生物多様性学習	座学	13	堆肥ふるい・堆肥作り	実習	12
2/21	籾摺り・精米	実習	13	谷戸学校修了後について	座学	12
3/7	実習レポートの提出と発表意見交換	実習	12	荒起し②	座学	12
3/21	種籾塩水選	実習	13	修了式	実習	13

*新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から約2ヶ月遅れての開講になりました。田起し、代かき 等、4月、5月に予定されていたが実施できなかった講座については、令和3年度に実施する予定です。また、記念植樹は令和3年4月11日に実施しました。

＊事業数　37回
＊年間総参加人数　415名　（ｽﾀｯﾌを含む）
＊各部会の活動実習　部会実習を講座に組み入れた（６回実施）
＊案山子まつり進め役　有志で竹の準備、人気投票開票、表彰状作成を担当
＊案山子製作数　1体
＊記念植樹　「クロマツ」
＊修了後のグループ名　かわにな
＊令和3年度の休日谷戸番　月2回程度を全員持回りで担当
＊令和3年度のスタッフ予定
　・準指導員　6名
　・アシスタント　4名

12. 広　報

毎月「舞の里だより」を発行(11・12 月は合併号)。「広報よこはま」戸塚・港南・栄区の各区版にも、イベントの情報等を掲載しました。大きな行事のお知らせや行事の募集などは、小谷戸の里入り口大掲示板や作業棟前掲示板、古民家入口などにポスターを掲示しました。 ボランティア募集や登録者への呼びかけは、作業棟前・大掲示板に掲示したほか、舞の里だよりにも同封しました。

(1)舞の里だより発行部数

・登録ボランティアへの郵送:約 400 部、その他(区役所・近隣町内会等)への配布:約 1,300 部。
残りを小谷戸の里と情報館、瓜久保の家に置き、来園者が自由に持ち帰れるようにしました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11・12	1	2	3
号	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301
部数(部)	2,200	1,800	1,900	1,800	2,070	2,300	2,200	2,300	1,950	2,000	2,000

(2)取材・報道等

・11 件(資料集参照)

(3)その他の広報

・野鳥とのであい、樹木と野草のしおり、定例自然観察会の報告、谷戸ごよみ、生き物持出し禁止、絵の具注意、犬の注意等のポスターを園内各所に掲示しています。

・ホームページには舞の里だよりを掲載。また、舞岡公園の日常を随時ブログで紹介しています。

(4)活動状況

・「舞の里だより」発行日の第3土曜日午前中に、折り・封筒詰めボランティア(数名)が活動しました。

・「舞の里だより」の読み物として、生物環境部会が「生きもの語り」を連載しました。

・「舞の里だより」編集や郵送手続等は主に事務局で対応しました。

13. 舞・小谷戸屋

(1)店舗品製作ボランティア(竹炭焼きボランティア、竹トンボ作りボランティア、藁・竹製品作りボランティア等)と事務局スタッフで日々の業務を円滑に進めることができました。わら亀や鍋敷きなどの定番品に加え、ボランティアさんの創意あふれる新製品が増えて来園者にも喜ばれています。

(2)完全無農薬有機栽培を実践している田んぼや畑の稲わら・麦わら・わら縄等(稲作、畑作の副産物)の販売を行いました。

(3)収穫祭中止により使用量が少なかったため、もち米や黒米をカンパ提供しました。

(4)環境への配慮から木酢液等を販売する際に使用していたペットボトルをリサイクル瓶に、購入品持ち帰り用の袋をビニール袋から紙袋に変更しました。

＊舞・小谷戸屋年度販売実績

平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
982,213 円	802,500 円	1,166,561 円

＊主な店舗品の販売実績

野鳥とのであい(100 円)	124部	わら馬(300 円)	70 個	麦わらかご(200円)	119 個
絵はがき(50 円)	233 枚	ミニ草履(100 円)	266 個	正月飾り(200～600 円)	96 個
樹木と野草のしおり(500 円)	146 セット	竹とんぼ(150 円)	674 個	ミニ門松(800 円)	43 個
特選わら草履(800 円)	58 足	竹ぶんぶんごま(50 円)	315 個	木(竹)酢液(100～250 円)	124 本
鍋敷き(600 円・400 円)	209 個	竹ベラごま(150 円)	182 本	稲わら(100 円)	202 個
わら亀(大 300 円・小 150 円)	118 個	竹かご(50～900 円)	117 個	＊その他取り扱い約 40 品目	

14. 生物多様性維持保全活動

(1) 外来植物防除隊（１７回：５９人）

平成22年より「生物多様性実践PJ」の、主に外来種防除現場作業として始めました。スタート当初はウシガエル防除、保全植物移植や草刈り等も行っていましたが、徐々に外来植物防除に絞り込み活動名も平成24年度より「外来植物防除隊」に変更し現在に至っています。

かつては、抜いたセイタカアワダチソウがリヤカー数台分にもなりました。今でもセイタカアワダチソウが一番多く、他にはヒメオドリコソウ、ニワゼキショウ、オオブタクサ、オオアマナ、セイヨウタンポポ等々、月1～2回の活動を行っています。

来園の市民の方々から「素晴らしい公園！」と舞岡公園を称賛していただけるのも、このようなボランティアさんの努力無くしては存在しません。

(2) みち草ボランティア（25回：118人）

希少植物保護のため、結実した種を収穫してポットに蒔き、芽が出たものは各所に移植しました。根付いて元気に育っているものも多くあります。

セイタカアワダチソウ、ニワゼキショウなどの外来種やカントウヨメナやネザサのように繁殖力が旺盛でどんどん陣地を広げて他の植物の成長を妨げる植物を抜いたり刈ったりしました。

(3) やっとCO（4回：20人）

舞岡公園を活動場所としている幼稚園の保護者有志のグループが昨年度より舞岡公園でのボランティア活動をスタート。コロナ禍で幼稚園が休園になってしまい、活動回数は4回でしたが、セイタカアワダチソウを中心に、ウラジロチチコグサやブタナなどの外来種防除を行いました。

(4) ホタル調査：水生ボタル（ゲンジボタル・ヘイケボタル）

・6か所同時に定点一斉発生調査（調査期間　：5/28～7/16）
・今期も昨年同様、出現が早いのではないかと予測。毎週木曜日におよそ2時間の調査を。1か月半ほど続けました。
・気象変動の影響でしょうか、数年前に比べて発生数が減少。
・ヘイケボタルの発生が早く、№1～№6田んぼでは増加していました。
・夏季長期間の猛暑の影響で湿地のひび割れや水路の水減少等が有り、少なからず影響しているように思われます。

(5) 小谷戸池・大原おき池外来生物（ウシガエル）防除

・事務局で通年罠を仕掛け、計122匹を捕獲。温暖化の影響か冬場でも相当数を捕獲しました。併せてオタマジャクシも捕獲。その数360匹余りになりました。
・１１月には小谷戸池とかっぱ池で池の水位を下げ、網を使って集中的に捕獲作戦を実施しました。両方の池で合わせて1,300匹余りのオタマジャクシを捕獲しました。
・やはり卵の段階で徹底して捕る方法を続けることが重要と思われます。しかし、あっという間に元の状態になるため、抜本的方策が、一刻も早く待たれます。

15. 教育機関・学校の通年・定期体験活動

(1) 田んぼ

1)金井幼稚園(年長 4クラス 60名、保育者4名、保護者適宜)

＜活動概要＞ 田んぼ No.12 (226 ㎡)

・活動回数:全 7回(内訳:保育者・職員・園児・保護者の参加 1回、保育者・園児のみの参加 2回、保育者・職員のみの参加 5回)

・金井幼稚園は公園開園以来米作り体験活動を続けています。

・苗については、例年通り長野の農家で準備したものを使い、品種は「コガネモチ」です。今年度も自前の苗が不足するなか、余剰の苗をいただき、たいへん役にたちました。

・稲は刈り取って園に持ち帰り、園内で乾燥、脱穀して、園で餅つき等の収穫祭を行いました。

・今年度は新型コロナウィルス感染症の感染防止を考慮して、園児の参加は園児だけの"田うえ"と"泥んこ遊び"(例年は代かき前の自分の田んぼを使用しますが、今年は休耕作田を使用)、保育者や職員、園児と保護者で行う"稲刈り"の 3 回です。残りの作業(田起し、代かき、田植え、草取り2回、ネット掛けは中止)は幼稚園の保育者や職員が参加して行いました。

・スタッフは指導員1名体制で対応しました。

＜まとめ＞

・新型コロナウィルス感染症防止対策に振りまわされた1年間でしたが、米作りの体験や自然とのふれあいはできたと思います。

・自然とのふれあい、保育者との泥んこ遊びや親子での作業等は、幼児期の貴重な体験の場になっています。

・活動の田んぼは今年度も No.12 で、広さは適切です。

2)もみの木園(園児 20 名前後、保育者 2 名、保護者も参加)

＜活動概要＞田んぼ№8A(66 ㎡)

・活動回数:7回(全 10 回予定)

・2～6 歳までのこども達が活動している園舎を持たない野外保育のようちえん。
舞岡公園が活動拠点の一つになっており、四季を通じて子どもたちが訪れています。
田んぼ活動は10年目になります。

・作業内容に合わせて、保護者が作業に参加しています。(全回)

・案山子を今年も 1 体作りました。(保護者)

＜まとめ＞

・年齢に応じた作業の進め方を保育者と確認しながら行いました。

・年間 10 回の作業でしたが、緊急事態宣言下の対応として、田起し、代かきは中止とし、田植えからの作業を行いました。餅つきも中止とし、精米したお米をお渡ししました。
田植えは、昨年の刈り株の跡に植えるようにしました。
植える場所が鮮明なこと等、作業はとてもやりやすく良かった、との感想でした。

・田起し、代かきをしない田んぼでしたが、お米収量は昨年度同様の結果でした。

・今年度も、2,3 歳児の子どもが多く、草刈り後の草集めなど、子どもたちの作業は、田んぼ 周りの作業が多い年でした。

・年齢によって作業の参加の仕方を変えています。
年中、年長児は、鍬や鎌を使っての作業も行います。
田植え、稲刈りは子どもの後ろに大人がマンツーマンでついて作業をしています。
・保護者も田んぼの作業を行うことにより、舞岡公園への理解を深めているようです。引き続き、田んぼの活動を行っていくことで、子どもの成長と共に保護者も成長し、永く公園に親しんでもらいたいという思いのもとに田んぼの活動を行っています。 保護者有志で舞岡公園の生物多様性保全の作業にも携わっています。(2年目でしたが、今年はコロナウィルス状況下のため活動は制限)
・保護者は、子どもの在園中に田んぼに関わることになりますが、作業への理解や所作について、指導員のサポートの継続となります。卒園児の保護者も作業に参加をしています。
子どもの作業へのサポートは、保育者が担当保護者をえらび、指導員がサポートする形をとっています。
・卒園した子どもたちも来られる日は田んぼ活動に参加しています。
・園児の人数は、随時入園のため年度当初より増えていきます。
・卒園児・親のグループは、「もみの木クラブ」といい、昨年度より田んぼグループ「ゆいまーる」に合流し、田んぼの活動を継続しています。
・2021 年度も、新型コロナウィルス状況下での活動となります。園の方針を伺い、無理のないかたちで安心して田んぼの作業をしていけるように適宜相談しながら、すすめていきたいと思います。

3)Y.M.C.A.戸塚保育園(5 歳児クラス 30 名、保護者 15～20 名、保育者 2 名～5 名
＜活動概要＞田んぼ№3C(130 ㎡)
・活動回数・曜日:全 11 回、土曜日午前中
・代かき、田植え、稲刈り、脱穀の作業では園児が最も活躍した作業になりました。特に代かきの作業後は田んぼでかけっこをしたり、先生とふざけ合って泥だらけになったりして遊んでいました。
・田植え、稲刈り、脱穀では保育者も多く参加し、支障なく作業ができました。
・草取りでも親子で抜いた雑草を堆肥場までバケツやケースで協力して運ぶ様子が見られました。作業終了後は虫探しやかけっこを楽しんでいました。
・園での餅つきのためにもち米を提供しました。
・案山子祭りに参加し 1 体出展しました。
・コロナ禍の中でも田植え・稲刈り作業は全体を 2 グループに分け、時間差で作業をすることで密にならずに作業ができました。
＜まとめ＞
・今年度の活動日には毎回多くの保護者・園児の参加がありました。園児だけでなく保護者の参加が必須ですが、毎回参加の家族も多数ありました。ありがとうございました。
・今年度は、1 人体制で作業が始まりましたが、稲刈り・脱穀は応援指導員を 2 人出してもらい作業をすることができました。
・来年度も安全に配慮しながら、子どもたちが舞岡の自然環境の中で楽しく田んぼ作業に関わり、遊べたらいいと思います。

4)小学館アカデミーかみながや保育園（年長クラス 10 名、保育者2名）

＜活動概要＞　田んぼ No.1A（195 ㎡)の一部を共用

・活動回数:全 2回（保育者のみ 1回、保育者・園児参加 1回)

・米作り体験活動は 6年目です。

・今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮(保育園の方針で公共交通機関の不使用)し、園児の来園、参加はできませんでした。

・今年度も南舞岡小学校 5年生の皆さんに協力をお願いして No.1A 田んぼの一角を使用しましたが、園児が来園できないため、公園での活動は保育者だけでの稲刈りだけでした。

・園児との活動は、年末保育園へ出向き、保育者や園児とわら細工の“正月飾り”作りを行ないました。

・スタッフは指導員1名体制としました。

＜まとめ＞

・例年と同様に南舞岡小学校5年生の協力で学校田んぼの一角を使用し、園児と保育者で活動する予定でしたが、新型コロナウィルス感染症の感染防止対策に影響され、ほとんど活動できませんでした。

・保育園や幼稚園で田んぼ一つを持つことが難しい場合は、既存グループの田んぼの一角を使用して活動することが一つ方策になります。来年度も同様の形態で活動する予定です。

5)港南ひまわり保育園

・新型コロナウィルス感染症の感染防止を考慮(保育園の方針で公共交通機関は不使用)して園児の来園、参加ができず、活動できませんでした。

・来年度は、南舞岡小学校5年生の協力で学校田んぼの一角を使用し、園児と保育者で活動する予定です。

6)ポピンズナーサリースクール横浜・同みなとみらい・同馬車道

（3園合同で活動、年長各1クラス 30名、保育者6名）

＜活動概要＞　田んぼ No.4B（60 ㎡)

・活動回数:全 7回（保育者のみ 4回、保育者・園児参加 3回)

・米作り体験活動は 4年目です。

・今年度は新型コロナウィルス感染症の感染防止対策として、保育園の方針で保育園毎に貸し切りバスで時間をずらして来園し、活動も保育園毎ずらして行ない別々に帰園しました。園児の活動は、案山子作り、稲刈り、脱穀の3回でした。残りは保育者が3～6名午後来園して作業しました。

・田起し、代かきは公園スタッフで行ないました。

・案山子は、今年も公園で園毎に 1体ずつ作成して立てました。名前は「なんでもまもるくん」、「キングマン」、「ようかいマコちゃん」と名付けました。

・スタッフは指導員1名体制で対応しましたが、稲刈り、脱穀に限り2～3名の指導員の応援を得て行ないました。

＜まとめ＞

・新型コロナウイルス感染症防止対策に振りまわされた1年間でしたが、米作りの体験や自然と

のふれあいはできたと思います。

・活動の田んぼは今年度もNo.4Aで、広さは適切です。

7)南舞岡小学校　5年生（ 1クラス30名、教職員2名、保護者適宜）

＜活動概要＞　田んぼNo.1A（195㎡）

・活動回数:全11回の内7回(内訳:クラス全員5回、クラス半分毎2回)

・田んぼ体験活動は開園当初から行っています。

・今年度も事前に作業手順を学校に連絡し、事前に先生、保護者に理解いただいたことで、作業内容、手順が周知され、混乱なく進めることができました。

・今年度は新型コロナウィルス感染症の感染防止を考慮して田起しから草取りまでは例年と異なる活動対応となりました。田起し、代かき及び田植えの半分は公園スタッフのみで行ない、田植えの残り半分は、密を避けるため2回に分けて先生と児童が参加して植えました。

・草取りも雨にたたられ、1回のみ先生と児童が参加しましたが、2回目は公園スタッフで行ないました。ネット張りは行なわないことになったため、通常の活動は水抜きからになり、鎌を持っての草刈り体験を行ないました。保護者の参加は稲刈りからとなりました。

・今年度も案山子を学校で2体作成して立てました。名前は「おばけの米ちゃん」と「カボチーノX」です。

・餅つきは昨年度から他の学校と同じく公園で行なうことになりましたが、新型コロナウィルス感染症の感染防止の点から中止としました。

・3月の荒起しには来年度体験活動を行う4年生が参加して、田んぼの近くで一年間学習してきた「荒馬踊り」を披露し、併せて悪い虫の追い払いや豊作を祈願しました。その後荒起しにも参加して一足早く田んぼ活動を体験しました。

・スタッフは指導員1名、準指導員2名、アシスタント3名の体制としました。なお、保護者は稲刈りからの参加で、毎回5～10名参加いただきました。

＜まとめ＞

・新型コロナウイルス感染症防止対策に振りまわされた1年間でしたが、米作り体験はできたと思います。

8)日限山小学校5年生(3クラス87名、教職員4名、保護者)

＜活動概要＞田んぼ№5　(面積251㎡)

・ 活動方針

①体験活動のねらい

(学校の方針)

「米づくりを通して自然と触れ合う良さを味わい、稲の栽培に取り組もうとする態度を養う」

「舞岡公園の方が、ボランティアで実体験を支援してくださることの意味を教える」

(学校の方針に対する舞岡公園の対応)

上記学校方針に即して綿密な打ち合わせを行い、以下の対応方針といたしました。

○限られた時間内に「総合的な学習」が行えるよう、田んぼ作業を待つ児童と作業を終えた児童に対して公園スタッフが説明や質疑応答の時間を割く。

○毎回参加して下さる保護者にも当日作業の概要や目的と、作業手順を説明し児童との協

働・共有が出来るよう努める。

○コロナ感染が始まっている中3密回避やマスク着用による熱中症への対策に加え、普段使い慣れない鎌や鍬などの農具の扱いを例年以上の注意を払って安全対策に努める。

○毎回活動を支援する公園スタッフは6名。児童の参加活動3回、公園スタッフだけの作業は8回。

②活動を阻害する要因発生

コロナ感染防止対策としての「緊急事態宣言」がさみだれ的に次々発令されるという未曾有の事態が発生し初期の活動目的と活動回数は例年に比べ大幅に減少する結果になりました。

1、第1回緊急事態宣言　:学校臨時休校時の措置に付言

4月7日～5月14日　(神奈川県等8都道府県を除き、5/14に解除)

5月25日　神奈川県等5都道府県を含み全国で解除

2、第2回緊急事態宣言　:一律休校は要請しない、対象は飲食店等に絞り保育所放課後児童クラブなどは原則開所する

令和3年1月8日～2月7日(神奈川、東京、埼玉、千葉)

1月14日～2月7日(大阪他7府県に追加発令)

3月7日まで延長　(上記地域)

上記期間再延長

3月21日解除　(首都圏1都3県)

③活動の内容

学習項目(以下表中太字が児童参加した作業)

学習内容(活動)	月	学習内容(活動)	月
田起し・くだき	4月	水抜き・草刈り	8月
代かき・畦塗り	5月	**稲刈り**	10月
田植え	5月	**脱穀**	10月
田の草取り	6月	荒起し	11月
田の草取り	7月	もちつき	2月

＜まとめ＞

・田んぼの米つくりはイネ伝来の縄文末期(～弥生)からこの方、多くの人々との助け合いを中心とする協働(共同)のうえに成り立ってきた。稔りに至るまでの大変な作業と協働することの意味合いを、豊かな自然の中で体験させたかったが、コロナ禍の度重なる緊急事態宣言によりこれらの思いは消化不良のまま、5月の「田植え」、10月の「稲刈り」、「脱穀」の計3回に終わりました・。

・例年の保護者との共同活動も三密回避のために3回にとどまりました。

(田植え)　午前中2クラスを2回に分けて8区画を給食前に、午後は残り1クラスが給食後に公園に集合して4区画を植え終わりました。

密回避の方法として、全員横一線に並び同時に後ろに下がりながら植え進む田綱方式から田んぼの地面に予め縦横の筋を付けて置き全員歩調は揃えずとも前向きでその交点に植え進む筋付け方式に変更し適切なディスタンスを取り、時間の短縮を図ったのはコロナ禍ならではの選択でした。

全員横一線で同時に植え進む方式に比べ連帯感と協働の観点からは今一歩だったように思います。

稲刈りの時を想定し各区画の境には穂色が異なる古代米を植え付けました。

（稲刈り）　田植え態勢と同様に午前9時10分に2クラス、午後13時30分1クラスが穂色で区別されている12区画を刈り終え、稲架掛けを行いました。

（脱穀）　稲刈り態勢と同様に午前2クラス、午後1クラスが稲架から乾いた稲を収納し、扱き竹・千把扱き・足踏み脱穀機で脱穀作業を行い、唐箕で籾を選別しました。

収量は、コガネモチ90.3 kg、ミドリモチ（古代米）7.3 kg　合計97.6 kgでした。

・計画最後となる「餅つき」も1月8日から3月21日までの緊急事態宣言とその延長により中止し、児童達には自分たちが収穫して公園が精米した米を持ち帰っていただきました。

・なお、児童と保護者の有志が今年も9月に案山子製作展示を行い舞岡公園の風物詩に花を添えるとともに案山子コンテストでは優勝を果たしました。

・公園内での米つくり学習は、コロナ禍の今年もまた事故なく安全に終えることができました。1年間通じてお世話をさせていだいたことに感謝するとともに、一日も早くコロナが収束に向かい新年度には自然豊かな舞岡公園田んぼで、新5年生が明るくのびのび学習することを願ってやみません。

9)小菅ヶ谷小学校5年生（3クラス89名、教職員3名、保護者毎回8名前後）

＜活動概要＞田んぼNo.6（面積248 ㎡）　スタッフ3名、アシスタント2名

・活動回数：全11回（内3回は新型コロナウィルス感染防止のため中止。学校にて児童への講話1回。公園スタッフと保護者3回、公園スタッフ・教職員・保護者にて1回実施）

・活動方針

① 学校として2年目の体験活動なので、前年度の課題等を生かし、新型コロナウィルス感染防止対策を取りながら学校と細部にわたり調整して活動を進めました。

② 「米作りを通して、農家の人の苦労や工夫を知る」、「作物を育てるために必要な肥料や水などが自然の中で循環していることを知る」のねらいに則して体験できるよう努めました。

③ 保護者の皆さんとは、コロナ禍の中で活動予定日が再三変更になりましたが、当日の活動の流れや意味を共有することに努めました。

＜まとめ＞

・今年度は、新型コロナウィルス感染防止のため、学校が休校になり、再開しても活動自粛が余儀なくされた中、例年実施してきた田起しはスタッフ、代かきはスタッフと保護者のみの活動で、児童は田植えから始めました。田んぼに入るのが初めての児童には、休耕田で水の入った田んぼの感覚を知ることから始めました。

・前年は学年全体での活動でしたが、今年度は密を避けるために時間差で学級ごとの活動にしたところ、個々の活動がより充実した体験になり、学習成果的には良かったと思います。

・餅つきが中止になったので、公園で収穫したもち米を児童が各家庭に持ち帰り、そのもち米を使った様々な料理の実践が見られたようです。おこわやおはぎの定番料理から、ピザ、しゅうまい、いか飯などに挑戦したようで、どれも美味しそうでした。

・総合学習のまとめとして、学校全体への総合発表会では、学年の廊下に、お米について様々なことを伝えるために作品を展示したということでした。楽しみながら学べるすごろくや、谷戸の模型などたくさんの工夫が見られ、テレビ放送なども行い、学校全体にアンケートも取ったそうです。その中で、お米のことを前より好きになったと答えた児童が90%を超え、5年生にとって

達成感のある総合学習の活動となったそうで、コロナ禍ではありましたが、児童の学習に広がりと深まりが見られたことは、体験学習のねらいがほぼ達成できたものと考えます。

・保護者による学校評価アンケートにおいては、教育ボランティアなど地域の人材を積極的に導入し、「まち」と協力して子どもを育てているという「地域連携」の項目で、95%もの高評価をいただきました。

10)県立保土ヶ谷養護学校舞岡分教室(1年生9名、2年生14名、3年生15名、教職員13名)

＜活動概要＞田んぼNo.8B(120㎡) スタッフ2名、アシスタント2名

・活動回数:全11回(内2回は新型コロナウィルス感染防止のため中止。公園スタッフと教職員で3回、公園スタッフのみ1回実施)

・活動方針

① 米を栽培するための一連の作業を体験して学ぶという分教室の特徴あるねらいに沿って活動の実施に努めました。

② 稲の成長を観察し、米を収穫する喜びを知るために、活動の前後に当日の活動の意味や流れについて生徒に話をする機会を持ち、活動の深まりにつながるよう努めました。

＜まとめ＞

・今年度は、新型コロナウィルス感染防止のため、学校が休校になり、再開しても登校時間が2時間目からということで、例年実施してきた田起しはスタッフ、代かきはスタッフと教職員のみの活動で、生徒は田植えから始まりました。田んぼに入るのが初めての1年生には、休耕田で水の入った田んぼの感覚を知ることから始めました。

・「田んぼ学習」は、舞岡分教室においては就労に向けた作業学習の一環として行っており、働くことを学ぶ貴重な職業教育の場になっているということです。指示に従い作業に取り組むことを通じて、働くことの喜びを感じたり、働く意欲を高めたりすることが期待されるとともに、通常接する担任とは異なる舞岡のスタッフの方から直接指導を受けることにより、コミュニケーション力の向上を図ることにもつながっているということです。

・また、職業教育としてだけでなく、普段当たり前のように口にしているお米にどれだけ手がかけられているかを認識することは、食育につながっていくということで、公園での体験学習が学校の求める学習効果に協力できているということです。

11)認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から今年度の活動を中止しました。

12)株式会社ゆたかカレッジ 横浜キャンパス(生徒15名、教職員3名)

＜活動概要＞ 田んぼNo.10B (60㎡)

・活動回数: 全8回

・スタッフ:指導員3名

・「ゆたかカレッジ」とは18歳以降の障がいのある青年たちが、社会で活躍する力をつけるための4年制の「福祉型カレッジ」です。全国にキャンパスがあり、昨年度から1年生のカリキュラムとして田んぼ体験を行うことになりました。

・田んぼ体験をすることによって第一次産業に対する理解を深め、共同で様々な作業を行うことに

よって他者や自己に対する理解を深めることをねらいとしています。

・新型コロナウィルスの影響により6月の田植えから活動を開始しました。1年生にとっては田んぼ体験が初めてとなりますが、昨年度経験した教職員の方々のご協力により活動の時間配分の変更や準備等の改善により怪我無く楽しめた活動となりました。

・今年も案山子祭りに参加し、2体の案山子を作りました。

＜まとめ＞

・今年度は10番田んぼに移ったため上屋も近くにあり活動しやすかったようです。

・これまでの活動を踏まえ、来年度は田んぼ体験だけでなく、畑や雑木林や自然環境など公園全体を活用して学生たちの今後の社会生活への貢献につなげることを行う予定です。また、1年生の田んぼ活動だけでなく、2年生が公園の施設を使った何らかの体験活動も検討しています。

13)親子谷戸塾

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から今年度の募集を中止しました。

14)舞岡こめこめクラブ(舞岡地区センターが募集)（おとな33名　こども32名）

＜活動概要＞

①活動方針～家族で田んぼ体験～

②体験活動のねらい

(舞岡地区センター)

舞岡公園での米づくりを通じて、ゆたかな環境の中での新しい出会いと自然の恵みに感謝しながらむかしながらの文化にもふれる。

(舞岡公園の対応)

今年は2年目の活動となり、昨年活動実績を踏まえて綿密な打ち合わせを地区センターと行った上で、次の方針としました。

・新規参加する4歳前後の幼児も半数近くいるので、気を緩めることなく安全・衛生面には十分に配慮した態勢で臨む。

・子ども達どうしの出会いと生き物たちとの新しい出会いの場としてもらう。

・当グループは教育田に位置づけ、昨年同様青少年育成部会所属とする。

③活動の月別内容＞　活動田んぼ　No２８ｄ　（面積９０㎡）

学習内容(作業)	月	学習内容(作業)	月
田起し・くだき	4月	水抜き・草刈	8月
代かき・畦塗り	4月	稲刈り	9月
田植え	5月	脱穀	9月
田の草取り	6月	落ち葉かき、餅つき	11月
防鳥ネット掛け	7月	荒起し・堆肥まき	3月

・子どもたちに地区センターが作成した「クラブブック(冊子)」を事前に渡しておき、作業後に当日作業した田んぼの様子と出会った生き物を書きとめてもらいました。

・当日の印象を絵日記にまとめてもらいました。

・作業前にみんなで「田んぼのうた」を歌い体操を行うなど、けがの予防につとめました。

＜まとめ＞

地域連携と自然に親しむ教育的観点から、当法人と舞岡地区センターが行う「共働活動支援」でした。4月の「田起し」に始まり、「田植え」、「草取り」、「稲刈り」、「脱穀」、「餅つき」まで一連の活動が続きましたが「防鳥ネット掛け」作業に子どもは参加せず大人たちの作業を見守ってもらいました。餅つきは子どもたちにとり楽しい体験で、元気よく楽しく安全に搗き上げておいしくいただきました。
新型コロナによる感染拡大が2月頃から連日報道され遂には緊急事態宣言が 2 回にわたり発令される中での作業でした。 市指定管理者（管理受託者）として、委託者の横浜市環境創造局および環境創造局南部事務所との連携を常に図りつつ日常運営に努める日々は今も続いています。

第 1 回目の緊急事態宣言は、令和 2 年 4 月 7 日～5 月 14 日（神奈川県は、延長され 5 月 25 日に解除）。

第 2 回目の緊急事態宣言は、令和 3 年 1 月 8 日～2 月　7 日（神奈川県は、延長され 3 月 21 日に解除）。

また、この間においても今現在でも、不要不急の外出自粛要請、飲食店での営業時間短縮要請は行われ続け、大人はもとより保育園・幼稚園・学校に通う児童・生徒・学生の本来あるべき日常活動が極めて制限される 1 年でした。

このような中で、体温管理・手洗いマスク着用の徹底・トイレ等の換気徹底・着替え用テント設営をし、3密回避を常に意識した運営を行って来ました。保護者および地区センター、舞岡スタッフの理解と協力により当初予定の作業計画を安全に遂行できたことをこの場を借りて感謝します。自然豊かな地域の当公園に子どもたちの楽しく天真爛漫な声が弾け飛ぶ安全な環境つくりに一層励みたいと思います。

(2) 自然観察

南舞岡小学校 4 年生（2 クラス 45 名、教職員 3 名）

＜活動概要＞

月日	曜	内容	学習時間
11/27	金	生きものの冬支度～木の実・草の実を観察しよう～	9:30～11:30
1/20	水	鳥獣被害について	9:30～11:30

＜まとめ＞

・例年、舞岡公園をフィールドにして自然観察会を 5 回実施していましたが、新型コロナウィルス感染拡大防止（一斉休校や校外学習への制限）のため、今年度は 2 回の実施となりました。
四季折々の自然や生きものに触れることはできませんでしたが、11 月には植物の種子を観察することにより子孫を残すための様々な仕組みがあることを知りました。

・1 月には、かながわ鳥獣被害対策支援センターの主催で、特定外来生物である「クリハラリス（タイワンリス）」による被害を座学と公園内のフィールドワークで学びました。

・実物を見たり触ったりすることにより、生きものの知恵の素晴らしさや人間と自然との深い関係をより身近に感じたり考えたりすることができたことと思います。

（３）古民家説明　　（対応小学校：１３校）

小学３年生の社会科見学で舞岡公園を訪れる学校が、例年は50校ほどあります。しかし、今年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から校外学習を見合わせた学校が多く、13 校への対応となりました。「昔の暮らし」の学習が中心ですが、茅葺屋根や家のつくり、藁や竹でできている生活用品、家屋を守るための燻蒸の仕組みなど、昔から受け継がれてきた人々の工夫や知恵に目を輝かせて学習していました。稲わらを生活用品に活用した後、堆肥として田んぼに返し、再び新しい作物の生育につなげる循環の仕組みを伝えることにより、自分たちの生活を見直すきっかけにしてほしいと願っています。

（４）体験学習

①神奈川県立金沢総合高校「産業社会と人間」働く人にインタビュー

令和２年11月10日(火)　13:30～14:40　　（生徒５名）

②神奈川県立舞岡高校科学部門松製作・設置支援

令和２年12月９日・16日・24日：３回　　（生徒９名、教職員１名）

③横浜市立吉原小学校　わら細工(なわない)体験

令和３年２月19日　　（5学年児童120名、教職員3名）

16. 教育機関以外の交流・体験・研修

①神奈川キノコの会　野外勉強会

令和2年7月12日　　20名

②(株)ブリヂストン　社会貢献活動

令和2年10月４日　　稲刈り体験　　18名

令和２年10月18日　脱穀体験　　29名

②とつかお結び広場

令和２年12月１日(日)～令和3年３月31日

舞岡公園の活動紹介パネル出展およびWEB会場

17. その他の活動(いろいろボランティア)

(1)水車回し隊 (15 回 : 78 人　　対応小学校 : 11 校)

通常行う一般来園者対応(木・土・日曜日)とは別に、平日の小学 3 年生を対象に運転をしました。例年は、年間 40 回以上ある教育機関への対応ですが、今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から減少。11 校の児童約 670 名に対応しました。

水車の上部から水を流し、羽根車の水受け板に水が溜まりその重さで、ゴロンと回り出す瞬間を間近で見たこども達の目の輝きに元気をもらい、普段の生活では味わえない楽しさを感じながら、和気あいあい楽しく取り組みました。

様々な事業で欠かせない米ですが、水車で行うのは、①籾から玄米にする ②玄米から白米にする(搗き臼で搗く) ③白米を粉にする(石臼で挽く)という3工程です。

活動月	活動回数(回)	活動人数(人)	教育機関(校)	活動月	活動回数(回)	活動人数(人)	教育機関(校)
4月	0	0	0	10月	2	10	2
5月	0	0	0	11月	2	9	2
6月	1	6	0	12月	4	19	4
7月	0	0	0	1月	0	0	0
8月	2	12	0	2月	0	0	0
9月	1	7	0	3月	3	15	3

(2)古民家ボランティア (268 回 :311 人)

主屋の燻蒸は 260 日以上行いました。3名のベテランボランティアに加え、新しく4名が参加してくださいました。朝 10 時前には竈に火が入り、午後 2 時頃には火の始末をして帰ります。

火を直に見たり温かさを感じたりできると、来園者からはとても喜ばれる上に、その煙が虫やカビから屋根の茅を守ってくれます。(納屋も茅葺きなので燻蒸は欠かせませんが、こちらは雨の日に事務局でドラム缶を使って対応しています)

竈で火を燃やすだけでなく、来園者に独楽や竹トンボなど昔遊びを楽しんでいただくために、アドバイスや見守りもしました。

(3)休日谷戸番ボランティア (3 回:3 人)

作業ボランティアがたくさん来園する日曜日に、田んぼ足袋の場所や貴重品の事、荷物の置き方や手続き等の案内をします。例年、日によっては 100 人以上が、田んぼや畑や雑木林等の活動や各種イベントのために来園しますので、安全確保等にも欠かせない活動です。

しかし、今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から緊急事態宣言等が出されて、ボランティア活動が休止となり、谷戸番ボランティアの活動の機会も限られたものとなりました。

(4)通信「舞の里だより」発送折りっこボランティア(9 回 : 43 人)

年 11 回発行する「舞の里だより」を、1 回につき約 2200 枚印刷します。その折りと封入作業のボランティアです。今年度はボランティア活動休止期間を除く 9 回。各回 2～8 名で 1 時間 30 分ほどの作業を行いました。

(5) 薪割ボランティア(7回 ： 33人)

小谷戸の里にきれいに積まれた薪は、里山の風情としても素晴らしい。

例年、年間およそ300回(古民家燻蒸約200回、炊出し約100回)焚く薪の準備のため、月1～2回、無心で斧を振りおろします。きれいに割れた薪は気持ちよく燃えます。

今年度は、緊急事態宣言下でのボランティア活動休止や収穫祭、炊出しの中止等によって薪の需要が減り、活動の機会が少なくなってしまいました。

(6) 竹炭焼きボランティア(9回 ： 30人)

今年度前半は、竹炭焼き小屋の整備があったことで活動は一時休止しました。後半は、コロナ禍ではありますが、感染防止に努めながら3回竹炭焼きを実施することができました。火入れ前に窯詰め、炭焼き後に窯出し作業があり、実質9日間の活動でした。かなり乾燥した炭材163kgから、33．9kgの竹炭を作りました。

(7) 田んぼ活動を支えるボランティア

①ネットの繕い(9回 ： 43人)

出穂から稲刈りまでの約3か月間田んぼに張り続けた防鳥ネットは紫外線で劣化したり強風や取り扱いの不味さなどで穴が空いたり破けたりします。これを丹念に繕いました。

(現状ネット枚数15枚余)。

②農具の点検修理(約20回 ： 20人)

楔が抜けた鍬や柄が折れた鎌、田植え道具、脱穀用具などの補修を行いました。

③藁縄作り(16回 ： 16人)

稲架つくりなどの田んぼ作業に欠かせない藁縄を作りました。昔の農家は冬季農閑期作業として、納屋や母屋の炉端で作っていましたが舞岡公園では春から夏にかけて気候の良い時に納屋の足ふみ式縄綯い機で毎年15巻程度を作っています。

(8)生物記録ボランティア(随時)

様々な制約がある中でとても根気の要るボランティア。盗掘や持ち去り等へ波及しないように細心の注意を払いながらの地道な活動です。信頼性の高い情報に、谷戸の生態系維持管理はしっかりと支えられています。

生物記録以外にも野鳥観察ポイントの柵補修や湿地の手入れを行いました

(11/10・11/11：計29名参加)。

アマナ

クイナ

18. 組織の運用

若い家族の登録参加が年々増えています。子ども達の発達には現場での実体験が欠かせません。しかし、現場コーディネーター（スタッフ）は減少し、人手不足が心配です。谷戸学校受講生を増やし若手スタッフを育成することが重要課題となっています。

今年度もベテラン指導員が総出でスタッフ養成講座「谷戸学校」に関わり、舞岡公園の魅力や舞岡公園流の活動の進め方を伝えました。その結果、谷戸学校 27 期修了者から 6 名が準指導員になりました。

令和 2 年度は、舞岡公園自然体験施設・文化体験施設の指定管理者として、新型コロナウィルス感染拡大防止対応のため、多くの事業を中止したものの、年間 2000 以上の事業を無事終えることができました。

【人数の推移】

	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度	令和2年度
舞スター	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
一芸	8 名	6 名	5 名	7 名	9名
指導員	19 名	17名	20 名	18 名	17名
準指導員	6 名	10 名	8 名	6 名	8名
アシスタント	21 名	26 名	29 名	23 名	19名

19. 満足度調査（CSR活動）

＜CSR 活動の一環としてアンケートの実施＞

新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から多くのイベントが中止となり、今年度、公募により催行できたイベントはわら細工3回、竹細工4回、シイタケ植菌体験2回の全9回。参加者 266 名（120 組）にアンケート式の満足度調査を行いました。総回収数は 110 枚。満足度平均は 98%でした。

20. スタッフの教育・訓練の実施

月日	テーマ名	受講者数	月日	テーマ名	受講者数
7/16	公共建築物の保全に関する研修	1 名	10/9	公共建物シックハウス対策説明会	1 名
8/9	人権啓発研修	9 名	10/20 ～ 10/25	伐木等の業務特別教育研修（チェーンソー）（補講を含む）	4 名
8/16	人権啓発研修	12 名	11./7	公園施設点検研修（樹木管理）	1 名
8/23	人権啓発研修	25 名	12/27	企業人権啓発に関する研修	49 名
9/7	人権啓発研修	14 名	1/23 ～ 2/7	AED 取扱い研修	13 名
9/7	自主防災訓練（消防パネル、消火器・放水銃操作、ドレンチャー放水等）	14名			

21. 特記事項

(1)企業からのご支援

「株式会社ブリヂストン様」と「ちょボラ募金様」より、60万円をご寄付いただききました。平成26年度より7回目のご支援となります。活動支援金として活用させていただきました。感謝申し上げます。

(2)神奈川県タイワンリス試験捕獲実施　12/4～3/12

(3)横浜市によるタイワンリスとアライグマの計画防除への協力

タイワンリス　捕獲期間:令和3年1月19日～3月12日　（罠2個）捕獲数9匹

アライグマ　捕獲期間:令和3年1月19日～3月12日　（罠3個）捕獲数1匹

罠檻設置期間中は当法人が巡視を行い、市の委託業者が罠の設置と処分を行いました。

(4)横浜市による補修・改修工事等(指定管理エリアのみ記載)

・小谷戸広場、古民家前庭ダスト舗装工事

・ねむのき広場テーブル・階段改修工事

・体験畑の木柵交換工事

(5)ナラ枯れ被害木の伐木

指定管理エリア内の4本を伐木・薪割・焼却処分。

令和2年度資料集

1 事業実施数集計

2 活動参加者数集計

3 生物モニタリング状況

4 古民家入館者・遠足等来園者記録

5 通年で体験した教育機関・障がい者グループ等

6 体験（1回～不定期）・研修・交流

7 取材・報道・撮影

8 活動案内（古民家説明）

9 視察・ヒヤリング・調査

10 貸出・提供

11 古民家ノート及びご意見箱に記載されていた利用者の声

12 主要工事実施記録(南部公園緑地事務所発注分)

1. 事業実施数集計

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
田んぼ	塩水選・苗代	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	19
	荒起こし・田起こし	32	14	0	0	0	0	0	9	1	0	0	14	70
	代かき	0	25	7	1	0	0	0	0	0	0	0	2	35
	苗取り・田植え	0	9	48	4	0	0	0	0	0	0	0	0	61
	草刈り・草取り	1	7	17	49	27	10	2	0	1	0	0	0	114
	ネット掛け・水抜き	1	0	0	1	12	13	0	0	0	1	0	0	28
	稲刈り・稲架作り	0	0	0	0	3	13	25	2	0	0	0	0	43
	脱穀・ネット収納	1	1	0	0	0	5	14	16	0	0	0	0	37
	堆肥・水路・畦	7	5	0	1	0	1	1	5	5	9	21	7	62
	炊き出し・餅つき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	案山子	0	0	0	0	7	6	0	0	0	0	0	0	13
	ネット補修	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	5	11
	その他(部会含)	12	17	17	16	20	20	28	32	14	17	8	15	216
	小計	68	78	91	72	69	68	70	67	24	27	29	46	709
青少年育成	学校等体験(幼~大)	9	13	38	19	16	14	18	11	4	1	2	2	147
	こども谷戸教室	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	親子自然教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	親子谷戸塾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(部会含)	5	0	2	1	1	2	3	7	7	3	1	1	33
	小計	16	15	40	20	17	16	21	18	11	4	3	3	184
畑	畑作業	11	17	7	12	13	7	8	9	7	6	7	6	110
	その他(部会含)	5	2	0	9	1	6	1	5	6	2	2	4	43
	小計	16	19	7	21	14	13	9	14	13	8	9	10	153
雑木林	間伐・除伐	1	0	0	1	0	0	0	1	5	4	8	6	26
	下草刈り	0	0	0	1	5	3	6	6	0	0	0	0	21
	炭焼き一連	0	0	7	5	0	1	0	0	0	1	0	0	14
	その他(部会含)	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	12
	小計	2	1	9	8	6	5	7	8	6	5	9	7	73
環境生物	自然観察会	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	その他(部会含)	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	3	16
	小計	1	1	1	1	2	1	1	1	4	1	1	3	18
農芸	農芸ｲﾍﾞﾝﾄ		0	0	0	0	0	0	1	4	0	1	1	7
	その他(部会含)		3	3	3	1	3	4	4	7	2	2	2	34
	小計	0	3	3	3	1	3	4	5	11	2	3	3	41
多様生性物	外来生物防除	1		2	1	2	2	3	2	0	0	2	2	17
	保全種保護作業(みち草)			0	2	2	3	4	3	2	3	3	3	25
	保全種保護作業(やっとCo)		0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4
	地域連携(明学)		0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	5
	生物多様性部門作業	0		0	0	2	2	8	3	1	0	3	9	28
	ホタル調査		1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	その他(部会含)	1	3	8	5	9	4	8	2	4	2	6	5	57
	小計	2	4	16	11	15	12	24	12	8	5	14	20	143
農文体	古民家事業(ｲﾍﾞﾝﾄ)			0		0	1	1	0	2	3	2	0	9
	水車回し隊			1		2	1	2	2	4	0	0	3	15
	古民家説明			0		0	0	2	2	5	0	1	3	13
	その他	3		0		1	1	0	0	1	1	0	1	8
	小計	3	0	1	0	3	3	5	4	12	4	3	7	45
小谷戸製品作り屋	竹炭焼き	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	2	7
	藁製品	16	8	7	18	18	12	11	14	11	19	18	17	169
	竹製品	14	13	13	17	16	18	17	18	18	21	19	17	201
	その他製品	0	0	0	2	12	20	10	1	0	0	0	0	45
	小計	30	21	20	38	46	50	38	35	29	40	39	36	422
維持作業	薪割り	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	0	2	7
	休日谷戸番	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
	古民家ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	21	22	21	22	24	21	23	26	19	22	23	23	267
	維持作業ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	6	10	1	4	1	1	3	6	6	7	14	12	71
	縄ない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	7	16
	その他	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
	小計	28	33	24	27	25	23	27	34	26	34	43	44	368
谷戸学校		1	2	4	4	2	4	4	6	2	3	4	4	40
お琴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
里だより(年11回/折っこ)		0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
里山の宝ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議	指連会	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	4
	田園部門会議	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	7
	理事会・理事懇談会	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	8
	その他会議	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	1	1	8
	小計	2	1	4	2	3	1	3	1	4	1	3	2	27
来園者	体験研修交流	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	5
	水車見学(小学校)	0	0	0	0	0	0	2	3	4	0	0	3	12
	水車見学(一般来園者)	0	0	1	0	2	1	2	2	0	0	0	3	11
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	2	2	5	0	1	3	13
	ﾋｱﾘﾝｸﾞ・視察・調査等	1	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	取材・報道・撮影	0	0	0	0	0	1	1	5	4	0	2	2	15
	遠足等の来園者	1	0	1	0	0	3	18	19	3	0	3	7	55
	古民家入館者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2	1	2	4	2	5	26	32	18	0	7	18	117
	合計	171	179	223	212	206	205	240	237	169	135	168	204	2,349

2. 活動参加者数集計

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
田んぼ	塩水選・苗代	64	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7	81
	荒起こし・田起こし	100	16	0	0	0	0	0	156	13	0	0	129	414
	代かき	0	88	7	1	0	0	0	0	0	0	0	18	114
	苗取り・田植え	0	71	500	8	0	0	0	0	0	0	0	0	579
	草刈り・草取り	1	15	53	449	226	41	7	0	1	0	0	0	793
	ネット掛け・水抜き	1	0	0	13	181	124	0	0	0	1	0	0	320
	稲刈り・稲架作り	0	0	0	0	23	168	337	2	0	0	0	0	530
	脱穀・ネット収納	4	10	0	0	0	74	258	119	0	0	0	0	465
	堆肥・水路・畦	11	8	0	3	0	1	1	15	41	66	251	62	459
	炊き出し・餅つき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	案山子	0	0	0	0	109	20	0	0	0	0	0	0	129
	ネット補修	0	0	0	0	0	0	0	6	15	0	0	25	46
	その他(部会含)	35	30	32	34	42	40	33	55	25	28	22	26	402
	小計	216	238	602	508	581	468	636	353	95	95	273	267	4,332
青少年育成	学校等体験(幼~大)	14	89	689	516	208	453	775	325	26	52	30	122	3,299
	こども谷戸教室	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	親子自然教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	親子谷戸塾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(部会含)	24	0	2	1	1	2	3	12	7	17	7	1	77
	小計	42	95	691	517	209	455	778	337	33	69	37	123	3,386
畑	畑作業	44	85	51	79	81	75	63	95	69	45	65	49	801
	その他(部会含)	12	10	0	20	3	14	8	5	18	6	10	9	115
	小計	56	95	51	99	84	89	71	100	87	51	75	58	916
雑木林	間伐・除伐	8	0	0	4	0	0	0	5	33	30	62	132	274
	下草刈り	0	0	0	7	45	18	39	58	0	0	0	0	167
	炭焼き一連	0	0	34	22	0	5	0	0	0	3	0	0	64
	その他(部会含)	11	7	9	7	8	10	7	8	8	0	10	7	92
	小計	19	7	43	40	53	33	46	71	41	33	72	139	597
環境生物	自然観察会		0	0	0	16	0	0	0	14	0	0	0	30
	その他(部会含)	4	8	7	5	5	6	2	5	7	4	3	8	64
	小計	4	8	7	5	21	6	2	5	21	4	3	8	94
農芸	農芸イベント		0	0	0	0	0	0	24	143	0	43	45	255
	その他(部会含)		14	3	18	14	16	13	40	22	19	25	25	209
	小計	0	14	3	18	14	16	13	64	165	19	68	70	464
多様生物	外来生物防除	2	0	4	8	8	9	7	6	0	0	6	9	59
	保全種保護作業(みち草)		0	0	10	7	11	18	14	8	16	16	18	118
	保全種保護作業(やっとCo)			0	6	0	4	5	5	0	0	0	0	20
	地域連携(明学)			16	0	0	0	0	12'	5	0	0	4	37
	生物多様性部門作業				0	3	7	39	4	2	0	5	4	64
	ホタル調査		8	24	16	0	0	0	0	0	0	0	0	48
	その他(部会含)	4	8	15	23	40	34	8	13	8	8	18	12	191
	小計	6	16	59	63	58	65	77	54	23	24	45	47	537
農文体	古民家事業(イベント)			0		0	450	453	0	27	281	13	0	1,224
	水車回し隊			6		12	7	10	9	18	0	0	14	76
	古民家説明			0		0	0	2	2	5	0	1	3	13
	その他	3		0		8	1	0	0	5	1	0	1	19
	小計	3	0	6	0	20	458	465	11	55	282	14	18	1,332
小谷戸屋製品作り	竹炭焼き		0	0	3	0	0	0	5	0	0	7	7	22
	藁製品	16	8	7	18	18	12	11	14	12	19	18	17	170
	竹製品	14	13	13	17	16	18	17	18	18	21	19	17	201
	その他製品		0	0	2	12	20	10	1	0	0	0	0	45
	小計	30	21	20	40	46	50	38	38	30	40	44	41	438
維持作業	薪割り	0	0	6	0	0	0	0	8	4	5	0	10	33
	休日谷戸番	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
	古民家ボランティア	21	22	22	24	32	27	28	29	25	26	29	29	314
	維持作業ボランティア	6	11	1	5	1	1	3	34	7	7	14	13	103
	縄ない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	7	16
	その他	0	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
	小計	28	36	30	30	33	29	32	71	36	42	49	59	475
谷戸学校		10	8	34	43	18	50	49	66	23	35	50	50	436
お琴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
里だより(年11回/折っこ)		0	0	6	3	2	6	4	0	4	3	7	8	43
里山の宝プロジェクト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議	指連会	0	0	0	0	6	0	23	18	0	0	0	23	70
	田園部門会議	4	0	9	0	9	0	10	0	10	9	14	0	65
	理事会・理事懇談会	0	9	14	14	13	7	11	0	13	0	12	0	93
	その他会議	8	0	26	14	0	0	0	0	25	0	5	7	85
	小計	12	9	49	28	28	7	44	18	48	9	31	30	313
来園者	体験研修交流	0	0	0	1	0	0	0	5	6	0	5	0	17
	水車見学(小学校)	0	0	0	0	0	0	114	197	321	0	0	260	892
	水車見学(一般来園者)	0	0	40	0	35	18	66	65	69	0	0	115	408
	古民家説明	0	0	0	0	0	0	114	197	380	0	56	260	1,007
	ヒヤリング・視察・調査等	2	1	0	35	0	0	1	0	0	0	0	0	39
	取材・報道・撮影	0	0	0	0	0	1	1	17	14	0	2	6	41
	遠足等の来園者	8	0	30	0	0	170	1,193	2,308	124	0	259	285	4,377
	古民家入館者	0	0	0	0	0	0	206	257	50	60	112	158	843
	小計	10	1	70	36	35	189	1,695	3,046	964	60	434	1,084	7,624
	合計	436	548	1,671	1,430	1,202	1,921	3,950	4,234	1,625	766	1,202	2,002	20,987

4. 古民家入館者・遠足等来園者数記録

月	古民家入館者数（任意記入）	遠足等の来園者数		
		人数	学校・団体数	学校・団体名等
4	0	8	1	舞岡保育園、日野幼稚園、戸塚ルーテル保育園、グローバルキッズ戸塚園、大船ルーテル保育園、飯島ルーテル保育園、飯島東こども園、バディスポーツ幼児園、野庭保育園、プレッツおおぞら保育園、野庭聖佳幼稚園、小菅ヶ谷幼稚園、戸塚ふたば幼稚園、舞岡幼稚園、たけのこ幼稚園、鎌倉女子大幼稚部、金井幼稚園、宝島幼稚園
5	0	0	0	
6	0	30	1	
7	0	0	0	
8	0	0	0	倉田小、東汲沢小、山元小、国大付属横浜小、舞岡小、小菅ヶ谷小、永野小、日限山小、東戸塚小、南舞岡小、丸山台中、金沢総合高校
9	0	170	3	
10	206	1,193	18	大船ルーテル学童、ゆたかカレッジ横浜、神奈川県健康生きがいづくりアドバイザー協議会、ハートルーム舞岡、柏尾連合町内会、舞岡台・日限山こどもグループ、神奈川トラストみどり財団、戸塚区保健福祉課マラニック、神奈川県歩け歩け協会横浜、レッツクラブ戸塚、ボーイスカウト横浜、花井様
11	257	2,308	19	
12	50	124	3	
1	60	0	0	
2	112	259	3	
3	158	285	7	
合計	843	4,377	55	
備考	来館者記録紙に記入された人数	事前届出のあった学校・団体数・人数を集計。この他にも遠足・ハイキング等の学校・団体や一般者がたくさん来園した。活動案内や体験は別表に集計。		

5. 通年で体験した教育機関

	学校等名	対象者	内容	田んぼ番号	生徒数(人)	教職員数(人)
1	金井幼稚園	年長4クラス	田んぼ作業	12	60	4
2	もみの木園	2～6歳	田んぼ作業	8A	18	2
3	YMCAとつか保育園	年長クラス	田んぼ作業	3C	30	5
4	小学館アカデミーかみながや保育園	年長ｸﾗｽ	田んぼ作業	1A	10	2
5	ポピンズナーサリースクール（3園合同）	年長ｸﾗｽ	田んぼ作業	4B	90	6
6	南舞岡小学校	5年生1ｸﾗｽ	田んぼ作業	1A	30	2
7	日限山小学校	5年生3ｸﾗｽ	田んぼ作業	5	87	4
8	小菅ヶ谷小学校	5年生3ｸﾗｽ	田んぼ作業	6	89	3
9	保土ヶ谷養護学校舞岡分教室	高校1～3年	田んぼ作業	8B	38	13
10	ゆたかカレッジ		田んぼ作業	10B	15	3
11	南舞岡小学校	4年生2ｸﾗｽ	自然観察会		60	3

＊ 園児・生徒の保護者も作業に参加しているが、この表には含まれていない

6. 体験(1回～不定期)・研修・交流

月日	団体名		内容	人数
9月6日	東洋大学国際学部国際地域学科４年	研修 ヒアリング	卒業論文作成のためのヒアリング	1
10/4	（株）ブリヂストン	体験	稲刈り体験	18
10/18	（株）ブリヂストン	体験	脱穀体験	29
11/5	明治学院大学国際学部林クラス	体験	落花生・さつまいも収穫体験	11
11/10	神奈川県立金沢総合高校	体験	働く人にインタビュー	5
12/1～3/31	とつかお結び広場（WEB会場）	交流	活動紹介	不明
12/9・16・24	神奈川県立舞岡高校科学部	体験・交流	門松製作支援	9
12/28	横浜市立吉原小学校	体験	わら細工体験	5
2/19	横浜市立吉原小学校	交流	総合的な学習の時間 「わら細工（なわない体験）」	123
計	9件			201

7. 取材・報道・撮影

月日	団体名	内　容	
7/31	タウンニュース	報道	案山子祭り作品募集
9/15	JAよこはま	報道	案山子祭り
10/29	タウンニュース	報道	案山子祭り
11/2～4	テレビ神奈川	撮影	もみじ休憩所
11/4	横浜市交通局	報道	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝで行く駅からぶらりｳｫｰｷﾝｸﾞｽﾎﾟｯﾄ
11/26	（株）アマナ	撮影	POLAの映像企画撮影
12/7	戸塚区役所	撮影	区長新春あいさつ
12/5	サンケイリビング新聞社・横浜市	取材	横浜市暮らしのガイド2021年版
1/7	タウンニュース	報道	さいと焼き
2/23	タウンニュース	報道	古民家雛人形飾り
3/12	タウンニュース	報道	谷戸学校２８期生募集
計	11 件		

8. 古民家説明・水車見学

月日	団体名	人数
10/29	芹が谷南小	54
10/30	浅間台小	60
11/5	南太田小	65
11/13	東戸塚小	132
12/2	横浜英和小	69
12/3	屏風浦小	104
12/8	中村小	58
12/11	桜岡小	90
12/14	上大岡小	59
2/3	日野小	56
3/10	倉田小	69
3/11	上矢部小	102
3/12	岡津小	89
計	13件	1007

9. 視察・ヒヤリング・調査

月日	団体名	人数
4/9	横浜市環境科学研究所	2
5/13	横浜市環境科学研究所	1
9/6	かながわきのこの会	33
7/15	横浜国立大学大学院生	1
9/6	東洋大学国際学部国際地域学科生	1
10/31	天王森公園運委員会事務所	1
計	6 件	36

10. 貸出

(件)

	貸出/提供先	教育機関	市民団体・企業	行政機関	計
貸出	籾摺り機	0	0	0	1
	その他道具	1	0	0	

11. 古民家ノート及びご意見箱に記載されていた利用者の声

(件)

			第１四半期	第2四半期	第３四半期	第４四半期	年計
称賛	古民家	古民家設備	0	0	0	0	0
		展示品・備品・遊具	0	0	0	2	2
		維持作業	5	4	4	3	16
	田んぼ等の自然体験施設	景観・設備	3	2	3	1	9
	活動やスタッフの対応		0	0	7	1	8
	楽しい・懐かしい・ゆっくりできた等		1	1	1	1	4
	小計		9	7	15	8	39
苦情・意見・要望*			24	11	19	19	73
その他			0	0	0	0	0
合計			33	18	34	27	112

＊要望意見等の内容　　（　）：直接の対応・回答

1 公園内でドローンを飛ばしたい。（禁止である旨、伝えた）→同様の質問は他にもあった。

2 マスクをしていない人が多いので注意喚起してほしい。（協力お願いポスターを掲示している旨、説明。さらに小谷戸の里入口に新たに掲示した）→同様の依頼は多数あった。

3 さくら休憩所でトランペットの練習をしている。注意してほしい。（詰所に依頼）→中丸の丘での太鼓、もみじ休憩所の学生グループの集まり等、音に対する同様の苦情や依頼は他にもあった。

4 戸塚区上倉田町から舞岡公園に入る階段両側の草刈りをしてほしい。（南部公園緑地事務所へ連絡）

5 舞岡公園での田んぼ農作業は江戸時代と変わらない。舞岡公園の収穫量を参考に当時の米の出来高を検証したいので、過年度の収穫量を教えてほしい。（お伝えした）

6 盲導犬を連れて園内を歩いていたところ通行をとがめられた。補助犬は可のはず。スタッフ教育を徹底してほしい。（陳謝の上、「補助犬可」について各門に表示、舞の里だよりで広報、諸会議でスタッフへの徹底を実施）

7 マヤランが咲いているが、子どもが抜いてしまわないか心配。貴重な花であることを伝えたい。（所在は確認している旨、伝えた）

8 園内でコーヒーを沸かして飲みたいがバーナーを使ってもよいか。（火気の使用禁止の旨、伝えた）

9 けやき広場、さくら休憩所のトイレが古く汚い。老人や子どものために改修し洋式を増やしてほしい。

10 駐車場近くの横断歩道に信号機をつけてほしい。

11 ダスト工事中で、古民家裏のフクジュソウを見られないのは残念。（安全上の措置である旨、伝えた）

12 大原堆肥場への一般来園者通行止めで野鳥観察できない。（安全上の措置である旨、伝えた）

12. 主要工事実施記録（南部公園緑地事務所発注分）

・小谷戸広場、古民家前庭のダスト舗装工事

貸借対照表

令和 3年 3月31日　現在

特定非営利活動法人　舞岡・やとひと未来　　（単位：　円）

資産の部

【流動資産】

現金及び預金	15,365,199	
前払費用	234,020	
未収入金	90,620	
流動資産合計		15,689,839
資産の部合計		15,689,839

負債の部

【流動負債】

未払金	778,406	
未払住民税	74,500	
未払消費税	663,500	
預り金	43,600	
預り金　次年度登録費等	495,000	
預り金（住民税）	81,600	
預り金　ＮＰＯ年会費	15,000	
預り金　ＮＰＯ正会員入会	10,000	
流動負債合計		2,161,606

【固定負債】

組織強化引当金・固定負債	6,684,890	
固定負債合計		6,684,890
負債の部合計		8,846,496

純資産の部

【株主資本】

利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	6,843,343	
その他利益剰余金合計	6,843,343	
利益剰余金合計	6,843,343	
株主資本合計		6,843,343
純資産の部合計		6,843,343
負債及び純資産合計		15,689,839

損益計算書

自　令和 2年 4月 1日
至　令和 3年 3月31日

特定非営利活動法人　舞岡・やとひと未来　　（単位：　円）

【売上高・収入】		
市受託収入	25,252,700	
事業収入	1,380,611	
登録費	794,000	
寄付金	1,072,899	
入会金	30,000	
年会費	81,000	
売上高合計		28,611,210
売上総利益金額		28,611,210
【管理費及び事務費等】		
管理費及び事務費等合計		26,972,017
営業利益金額		1,639,193
【営業外収益】		
受取利息	107	
営業外収益合計		107
経常利益金額		1,639,300
税引前当期純利益金額		1,639,300
住民税		74,500
当期純利益金額		1,564,800